

テーマ 1

「防災リーダーの役割/住民（構成員）の
自助意識を高めるためには」 研修教材（案）

【本教材について】

- テーマ： 1. 防災リーダーの役割/住民(構成員)の自助意識を高めるには
- 単元名： 1地域の災害発生のおそれと自主防災活動の必要性
- 所要時間： 60分程度
- 準備：
 1. 自治体の地域防災計画やハザードマップの内容をスライドに反映させて下さい。
 2. 「1. わがまち(地域)の災害発生のおそれ」は、「地震災害(p.11～p.16)」と「風水害(p.17～p.21)」の2種類の【ワークショップ】があります。地域の状況に合わせてご利用下さい。
 3. 補助教材にある「ワークシート」と細マジック(黒)を参加者人数分準備して下さい。
 4. 適宜、スライドの追加や変更をすることができます。参加者の特性(自主防災組織等の会長が多いか、在職期間が長いかなど)に応じて、内容のカスタマイズを検討することで、より良い研修効果が期待できます。
 5. 実際に研修を行う前に、何人かのグループを作り、練習し合う場を設けることもよい研修とするうえで効果的です。

追記

追記

自主防災組織等のリーダー育成研修

防災リーダーの役割/住民
(構成員)の自助意識を高めるには

地域の災害発生のおそれと
自主防災活動の必要性

学習目標と内容

●学習目標

地域防災リーダーとして、最低限理解しておきたい
基本的なことを理解する

<目次>

- わがまち(地域)の災害発生のおそれ P. 4～22
- 自主防災活動の必要性 P.23～29

1. わがまち(地域)の 災害発生のおそれ

近年、大規模な災害が
頻繁に発生しています

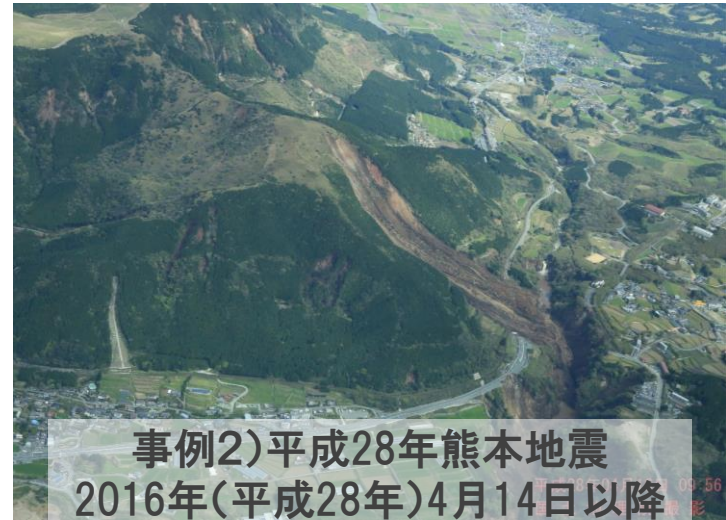
災害発生のおそれを認識しておくことの重要性

●近年、日本各地で発生している地震災害



事例1)東日本大震災
2011年(平成23年)3月11日

写真:総務省消防庁ホームページ



事例2)平成28年熊本地震
2016年(平成28年)4月14日以降

写真:総務省消防庁ホームページ



事例3)大阪府北部を震源とする地震
2018年(平成30年)6月18日

写真:内閣府防災情報のページ



事例4)北海道胆振東部地震
2018年(平成30年)9月6日

写真:総務省消防庁ホームページ

災害発生のおそれを認識しておくことの重要性

●近年、日本各地で発生している風水害



事例1)平成26年8月豪雨
(広島市で土砂災害)

写真:国土交通省 国土地理院ホームページ



事例2)平成29年九州北部豪雨
(福岡県や大分県などで
河川氾濫、土砂災害)

写真:国土交通省ホームページ



事例3)平成30年7月豪雨

写真:国土交通省ホームページ



事例4)令和元年台風15号災害

写真:国土交通省ホームページ

私たちの地域に
起こりうると想定されている
地震災害／風水害

市に想定されている地震の被害

● 想定地震

- ■■地震（震源： マグニチュード： 最大震度： ）

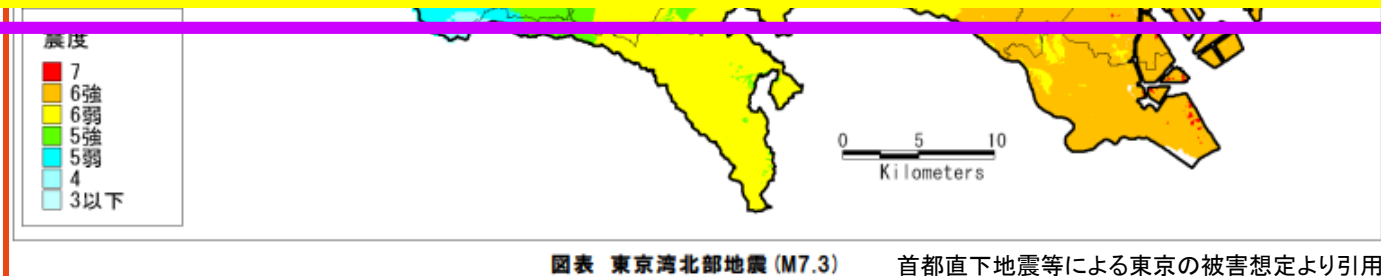
● 主な被害

- ・ 人的被害（死者●●名、負傷者●●●名）
- ・ 物的被害（建物倒壊、火災、液状化、土砂災害）

「地震災害」と「風水害」の2種類がありますので、説明する方が、地域の実情に合わせて、適宜選択してご利用下さい。

また、本スライドの赤枠の内容は、研修を行う地域で発生が想定されている地震についての被害想定図等に置き換えて下さい。本スライドでは、首都直下地震の震度分布図を例示しています。

研修会の受講者や規模にあわせて、被害想定図等を用意して下さい。



追記

市に想定されている大雨や台風等の被害

● 大雨や台風による主な被害

- ・ 高潮による浸水
- ・ 洪水による浸水
- ・ 低地帯等の内水氾濫による浸水
- ・ 大雨による土砂災害(土石流、がけ崩れ等)
- ・ 強風・竜巻による家屋倒壊等

「地震災害」と「風水害」の2種類がありますので、説明する方が、地域の実情に合わせて、適宜選択してご利用下さい。

また、本スライドの赤枠の内容は、研修を行う地域で発生が想定されている大雨や台風についての被害想定図等に置き換えて下さい。本スライドでは、千代田区洪水ハザードマップを例示しています。

研修会の受講者や規模にあわせて、被害想定図等を用意して下さい。



追記

＜地震災害＞

皆さんが住む地域には
どのような被害が想定されて
いるのでしょうか？

追記

「地震災害」と「風水害」の2種類がありますので、研修を行う方が、地域の実情に合わせて、適宜選択してご利用下さい。
また、研修会の受講者や規模にあわせて、市町村単位・町内会単位・小学校区単位などワークショップで考えてもらう対象地域を決めてください。



地震災害における地域の危険の整理

【個人作業】 <10分> 修正

配布されたハザードマップや被害想定資料を確認し、
皆さんの地域の危険性について「ワークシート(地震)」
に書き出しましょう

- ① 想定震度は？
- ② 津波の可能性は？
- ③ 液状化の可能性は？
- ④ どのような被害や影響が生じるか？

- ✓ 建物倒壊
- ✓ 火災

ワークシート(地震)	
自分の地域における地震時の被害を、ハザードマップや被害想定資料で確認してみましょう。	
① 想定震度	
震度	
② 津波の可能性	
津波の可能性	あり・なし / 浸水深 / 到達時間
③ 液状化の可能性	
液状化の可能性	あり・なし
④ その他、地震によって地域に生じる被害・影響等	
地震によって、津波や液状化以外に、どのような被害や影響があるか考えてみましょう。	

追記

研修の受講者の防災に関する知識の習得状況等に応じて、作業時間等を適宜調整して下さい。



グループ内で共有

<15分>

修正

ワークシートを活用しながら
皆さんの地域の危険について
話し合いましょう

地震の揺れによる被害と影響



研修を行う地域で起こると考えられる被害事例をお選び下さい



家具やモノが散乱

写真: 総務省消防庁ホームページ



道路にヒビ、でこぼこ

写真: 総務省消防庁ホームページ

地震の揺れによる被害と影響



研修を行う地域で起こると考えられる被害事例をお選び下さい



液状化

写真: JAPAN 東日本大震災 写真保存プロジェクト

写真: 総務省消防庁ホームページ



延焼火災

提供: 神戸市

写真: 総務省消防庁ホームページ

地震の揺れによる被害と影響



研修を行う地域で起こると考えられる被害事例をお選び下さい



下水道使用不可

写真: 国土交通省ホームページ

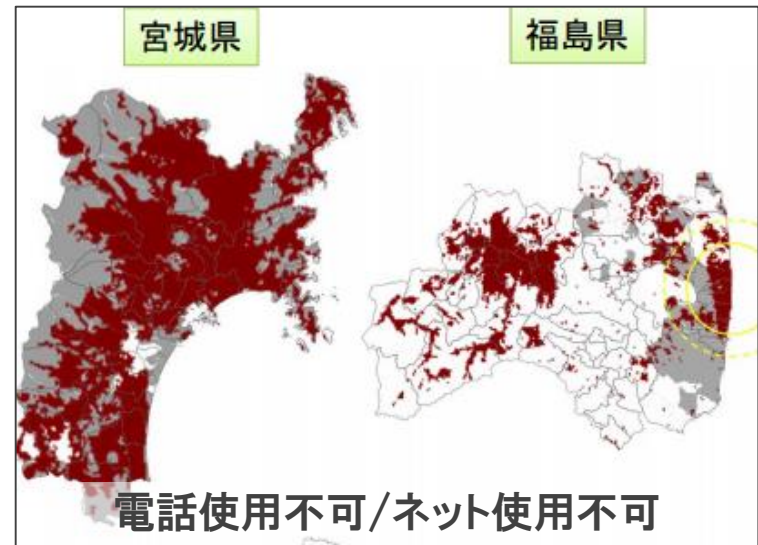


写真: 内閣府 防災情報のページ

＜風水害＞

皆さんが住む地域には
どのような被害が想定されて
いるのでしょうか？

追記

「地震災害」と「風水害」の2種類がありますので、研修を行う方が、地域の実情に合わせて、適宜選択してご利用下さい。
また、研修会の受講者や規模にあわせて、市町村単位・町内会単位・小学校区単位などワークショップで考えてもらう対象地域を決めてください。



風水害における地域の危険の整理

【個人作業】 <10分> 修正

配布されたハザードマップや被害想定資料を確認し、**皆さんの地域の危険性**について「ワークシート(風水害)」に書き出しましょう

- ① 河川氾濫による洪水の可能性は？ 水の深さは？
- ② 土砂災害の可能性は？
- ③ 高潮の可能性は？
- ④ その他、気づいた被害等
✓ 強風による建物の損壊

ワークシート(風水害)		(補助教材1 様式)
自分の地域における大雨や台風による被害を、ハザードマップや被害想定資料で確認してみましょう。		
① 河川による洪水等による浸水害の可能性		
洪水や内水氾濫等による浸水害の可能性	あり・なし	浸水深
② 土砂災害の可能性		
土砂災害の可能性	あり・なし	
③ 高潮の可能性		
高潮の可能性	あり・なし	浸水深
④ その他、大雨・台風によって地域に生じる被害や影響等		
大雨や台風によって、上記以外に、どのような被害や影響があるか考えてみましょう。		

追記

研修の受講者の防災に関する知識の習得状況等に応じて、作業時間等を適宜調整して下さい。



グループ内で共有

<15分>

修正

ワークシートを活用しながら
皆さんの地域の危険について
話し合いましょう

大雨や台風による被害と影響



研修を行う地域で起こると考えられる被害事例をお選び下さい



写真: 総務省消防庁ホームページ



写真: 総務省消防庁ページ

大雨や台風による被害と影響



研修を行う地域で起こると考えられる被害事例をお選び下さい



通信障害
(停電や伝送路断などによる)

写真: 宮古島地方気象台ホームページ



下水道
(施設被害、停電などによる)

写真: 千葉県ホームページ

1. わがまち(地域)の災害発生のおそれ

- まとめ -

- 近年、大規模な地震や風水害が発生し、被害は甚大です

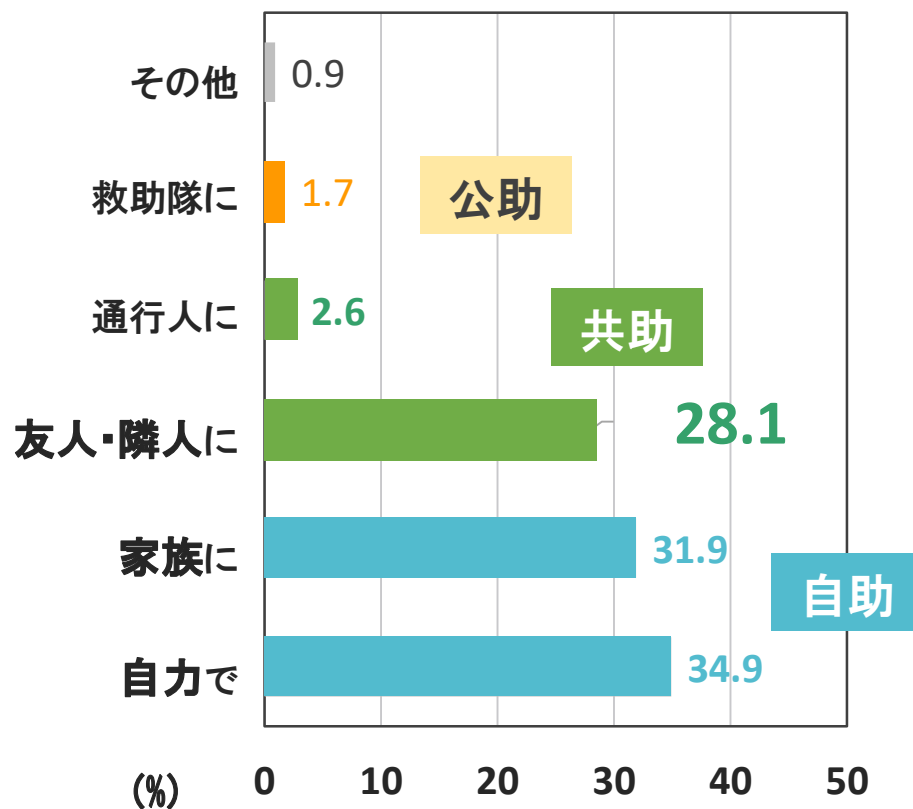
2. 自主防災活動の必要性

災害が発生した地域における対応の実態

(救助活動の実態)

阪神・淡路大震災において、倒壊家屋から救助したのは **自助** が66.8%、**共助**が30.7%、公助は2%足らず

阪神・淡路大震災における倒壊家屋からの
救助活動の主体



災害時(特に直後)は
「**公助**」が間に合わない

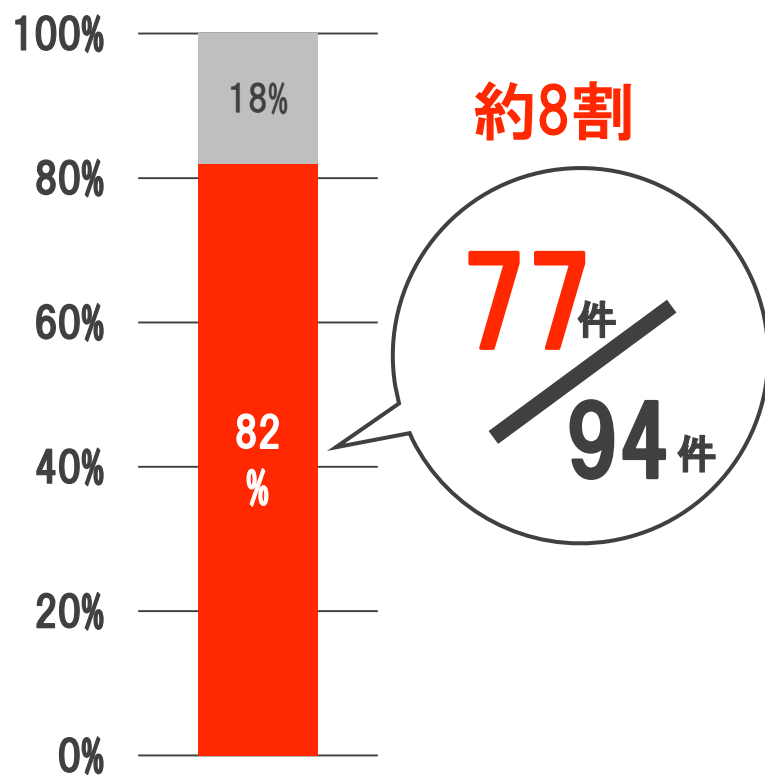


直後は
「**自助**」と「**共助**」で
守り抜く必要

災害が発生した地域における対応の実態

(消火活動の実態)

阪神・淡路大震災時に、神戸市内で、調査した94か所の火災現場のうち、**約8割の77か所**で**市民消火活動**が展開された



市民消火活動の有無

長田区西代市場火災

自治会リーダーの呼びかけで、200人以上のバケツリレー
倒壊家屋を動かし延焼防止

東灘区御影西町火災

子どもを含む約300人がバケツリレー

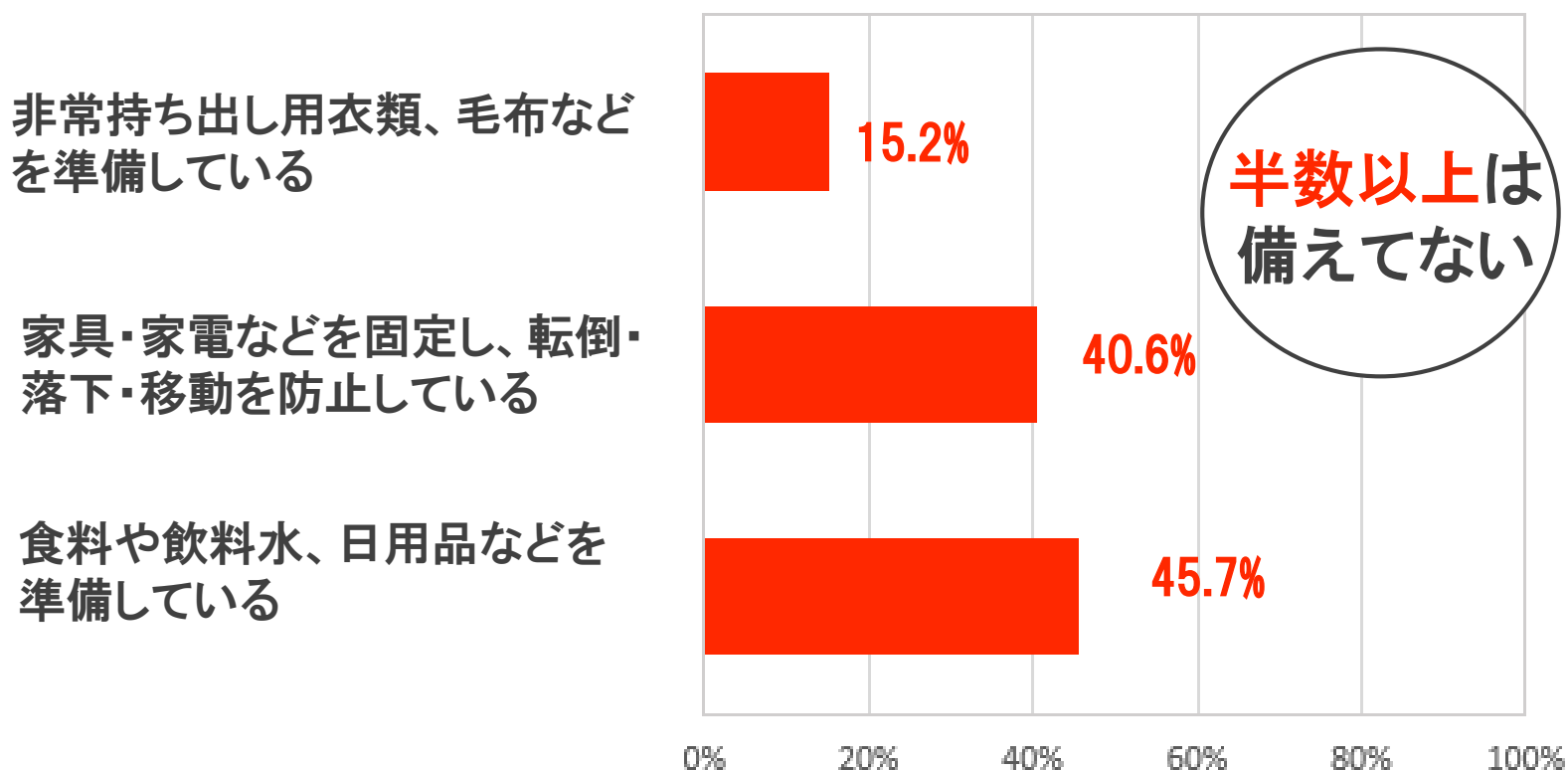
長田区東尻池町火災

近隣企業からポンプ、ホースなどの提供を受けて活用

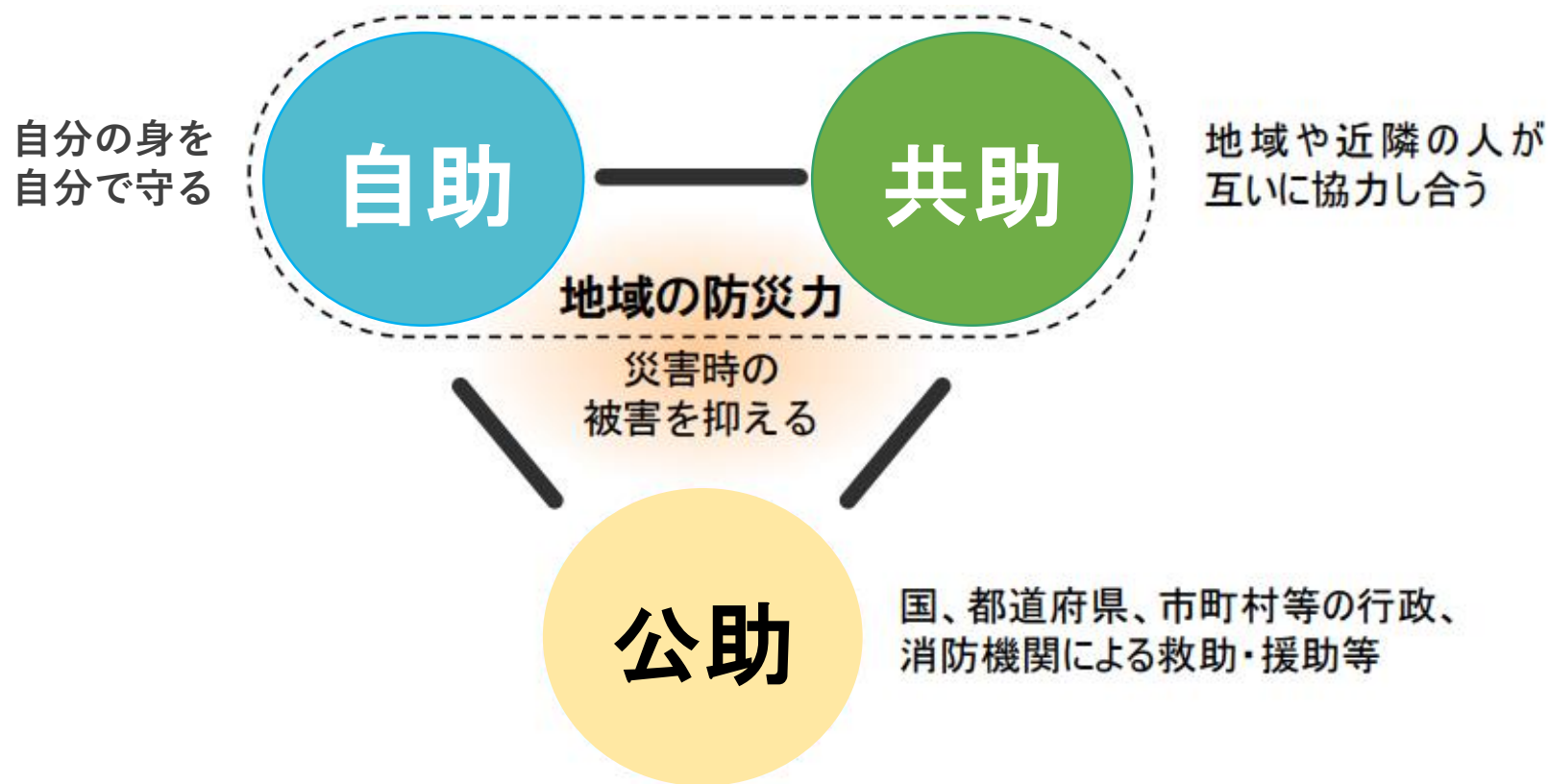
自助意識の現状

近年、自助の意識は高まってきているが、まだ不十分

各家庭が大地震に備えて、行っている対策



自助・共助の重要性



災害時(特に直後)は、「公助」の活動には限界がある
✓道路の寸断等で地域が孤立 ✓行政等も自身が被災

「自助」と「共助」の防災活動が重要

■倒壊家屋からの救出

くろせ ようこく
(東広島市黒瀬町洋国団地:広島県)

- 平成30年7月豪雨で土石流による被害を受けたが、住民で支え合っ
て事前に避難したため、死者やけが人がゼロだった。
- 要配慮者を含む7名が避難準備の発令前に自主的に避難した。この
時、自治会で事前に決めていた要配慮者を支援する担当者が避難
の補助をした。
- 平成26年の災害を受け、防災
に関する取組をはじめ、緊急告
知ラジオの設置や民生委員等
による高齢者・障がい者の避難
を支援する担当を事前に決め
ていた



参考:内閣府「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について(報告)【参考資料】」

2. 自主防災活動の必要性

- まとめ -

- 災害時（特に直前、直後）は、「自助」と「共助」の防災活動が重要です

まとめ

- 近年、大規模な地震や風水害が発生し、被害は甚大です
- 災害時(特に直前、直後)は、「自助」と「共助」の防災活動が重要です

ワークシート(地震)

自分の地域における地震時の被害を、ハザードマップや被害想定資料で確認してみましょう。

① 想定震度

震度

② 津波の可能性

津波の可能性 あり・なし

浸水深

到達時間

③ 液状化の可能性

液状化の可能性 あり・なし

④ その他、地震によって地域に生じる被害・影響等

地震によって、津波や液状化以外に、どのような被害や影響があるか考えてみましょう。

ワークシート(風水害)

自分の地域における大雨や台風による被害を、ハザードマップや被害想定資料で確認してみましよう。

① 河川による洪水等による浸水害の可能性 修正

修正

洪水や内水氾濫等による
浸水害の可能性

あり・なし

浸水深

② 土砂災害の可能性

土砂災害の可能性 あり・なし

③ 高潮の可能性

高潮の可能性 あり・なし

浸水深

④ その他、大雨・台風によって地域に生じる被害や影響等

大雨や台風によって、上記以外に、どのような被害や影響があるか考えてみましよう。

【本教材について】

- テーマ： 1. 防災リーダーの役割/住民(構成員)の自助意識を高めるには
- 単元名： 2 地域防災リーダーの役割
- 所要時間： 60分程度
- 準備：
 1. ワークショップ用に、各班に1枚の模造紙と付せん紙(3色)1組、参加者人数分の細マジック(黒)を準備して下さい。 追記
 2. 適宜、スライドの追加や変更をすることができます。参加者の特性(自主防災組織等の会長が多いか、在職期間が長いかなど)に応じて、内容のカスタマイズを検討することで、より良い研修効果が期待できます。
 3. 実際に研修を行う前に、何人かのグループを作り、練習し合う場を設けることもよい研修とするうえで効果的です 追記

自主防災組織等のリーダー育成研修

防災リーダーの役割/住民
(構成員)の自助意識を高めるには

地域防災リーダーの役割

学習目標と内容

●学習目標

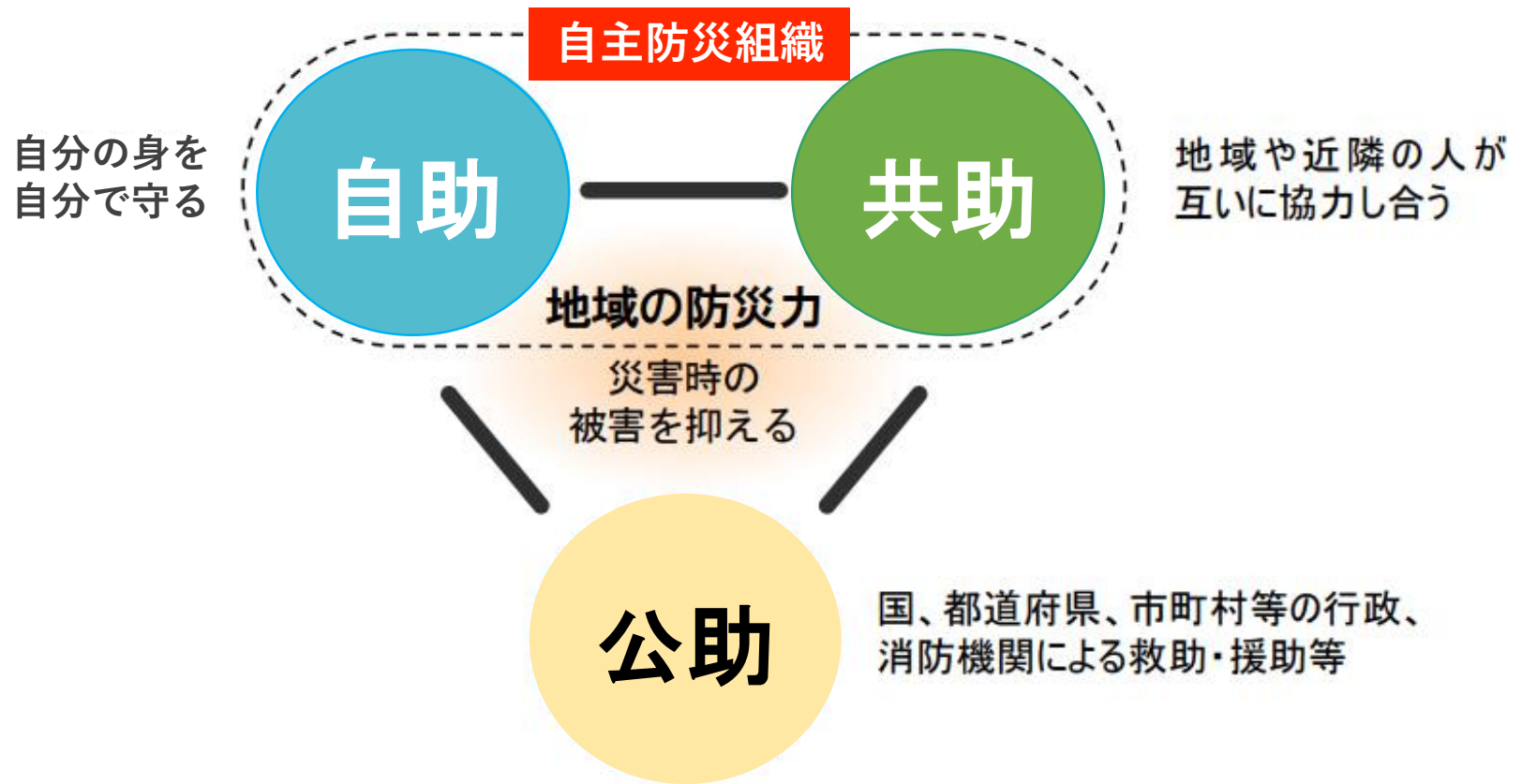
地域で自主防災活動に取り組む際に、リーダーとして最低限必要と考えられる知識を身につける

<目次>

- 自主防災組織の役割等 P. 4～10
- 地域の防災リーダーの役割 P.11～16
- 仲間を増やす P.17～31
- 地域をとりまく団体等との連携 P.32～36

1. 自主防災組織の役割等

自主防災組織の役割(自助・共助の重要性)



災害時(特に直後)は、「公助」の活動には限界がある
✓道路の寸断等で地域が孤立 ✓行政等も自身が被災

「自助」と「共助」の防災活動が重要

自主防災組織について

自主防災組織とは、自主的に結成された地域の防災活動の中核となる組織

- ・過去の災害体験や大地震発生の予想、ニュースの災害情報などをきっかけとして、防災意識が高まり、自治会等の既存の団体をベースに結成されることが多い

自覚

自分たちの地域は
自分たちで守る

目的

災害による被害を
予防し、軽減する

活動

防災教育、避難行
動要支援者対策、
避難所運営など

※地域によって様々

※自主防災組織の活動に対する補償制度

安心して自主防災組織等の活動を行う為の補償制度がある自治体もある

（例：岐阜県各務原市「かかみがはらまちづくり活動補償制度」）

自主防災組織の活動の必要性

地域とのつながり・結びつきが希薄化する現在、**安心・安全な暮らしを守る地域社会づくり**には、「自助」・「共助」の力を高める自主防災組織の活動が不可欠

自主防災組織の日常における活動の目的

①

【自助力の向上】

各家庭での
防災対策の促進

②

【共助力の向上】

地域の
災害対応力の向上

平時の主な取組み

平時から、防災意識の向上、地域の災害に対する備え、自助・共助の意識の向上などに取り組む

①

地域ぐるみでの
防災意識の醸成、
教育実施

②

家庭内の
安全対策の推進

③

地域の
災害危険個所
の把握

④

防災訓練

自主防災組織の役割の例(災害時)

1つの例です。役割を決める際の参考にして下さい。



1. 自主防災組織の役割等

- まとめ -

- 自主防災組織は、主に共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います。

2.地域の防災リーダーの 役割

地域の防災リーダーとして
果たす役割は何でしょうか？

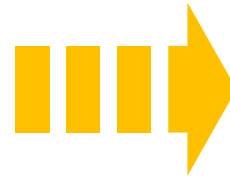
地域の防災リーダーの役割

平常時

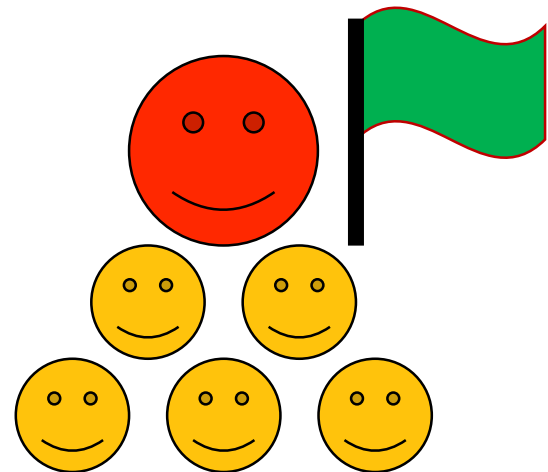
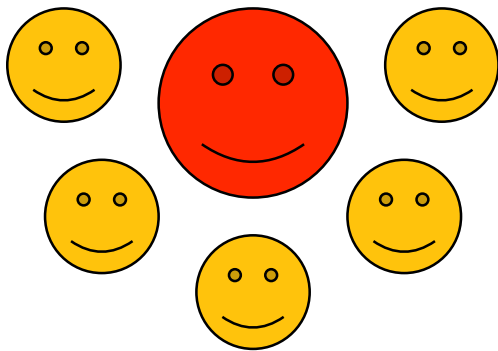
**災害
発生**

災害時

平常時から、リーダーとして地域で中心となり活動することで…



災害時、地域住民の先頭に立って、地域の防災活動を主導していくことができる



リーダーとして心掛けたいこと

① **リーダー**という立場を最大限利用しよう

② **楽しく活動**しよう

③ **仲間(3人程度の協力者)**を作ろう

「仲間に女性を入れよう」を削除

④ **役割を分担**しよう
(一人で担わない)

⑤ **地域住民とコミュニケーション**を図ろう

⑥ **地域の自助意識**を高めるよう地域の人に伝えよう

⑦ **地域の防災活動**に参加する人を育てよう

リーダーとして
心掛けたいこと

リーダーシップを発揮できる

■地域における避難の声かけ等の行動

(福岡県 ^{あさくら}朝倉市)

- 地域の役員が参加し、意見を出し合いながら地域と行政の協働で作りに上げていくワークショップ手法によりマップを作成し、地区内の各世帯に配布。
- 平成29年7月豪雨でも、班長、隣組長が避難を呼びかけ。60代の支援員が80代の方を連れて小学校に避難(その方の家は山からの土砂で押し潰された)するなど、助かった方がいる。



参考:「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する今後の取組について」(平成29年12月8日付 内閣府・消防庁通知)

2. 地域の防災リーダーの役割

- まとめ -

- 地域の防災リーダーは、災害時に先頭に立って防災活動を行うために、災害時だけではなく、平常時からリーダーシップを発揮して活動しましょう。

3. 仲間を増やす

皆さんが自主防災組織として
活動をしている中で、
悩んでいることや不安なことを
グループで話し合ってみましょう



悩みや不安を共有しましょう

【グループ検討】5分

- ・ 自主防災組織として活動する中で、悩み事や不安なことなどを、グループで話し合いましょう



皆さんの悩みや不安は
仲間を増やすことで
解決できることが多い
のではないのでしょうか？

皆さんの地域に
どんな人がいるか、
自主防災組織として活動
する上で仲間を増やせるか、
考えてみましょう



仲間を増やす

【個人検討】 <3分>

- 皆さんの地域にどんな人がいるか考え、黄色の付せん紙に書き出してみましょう

パソコンが
得意な人

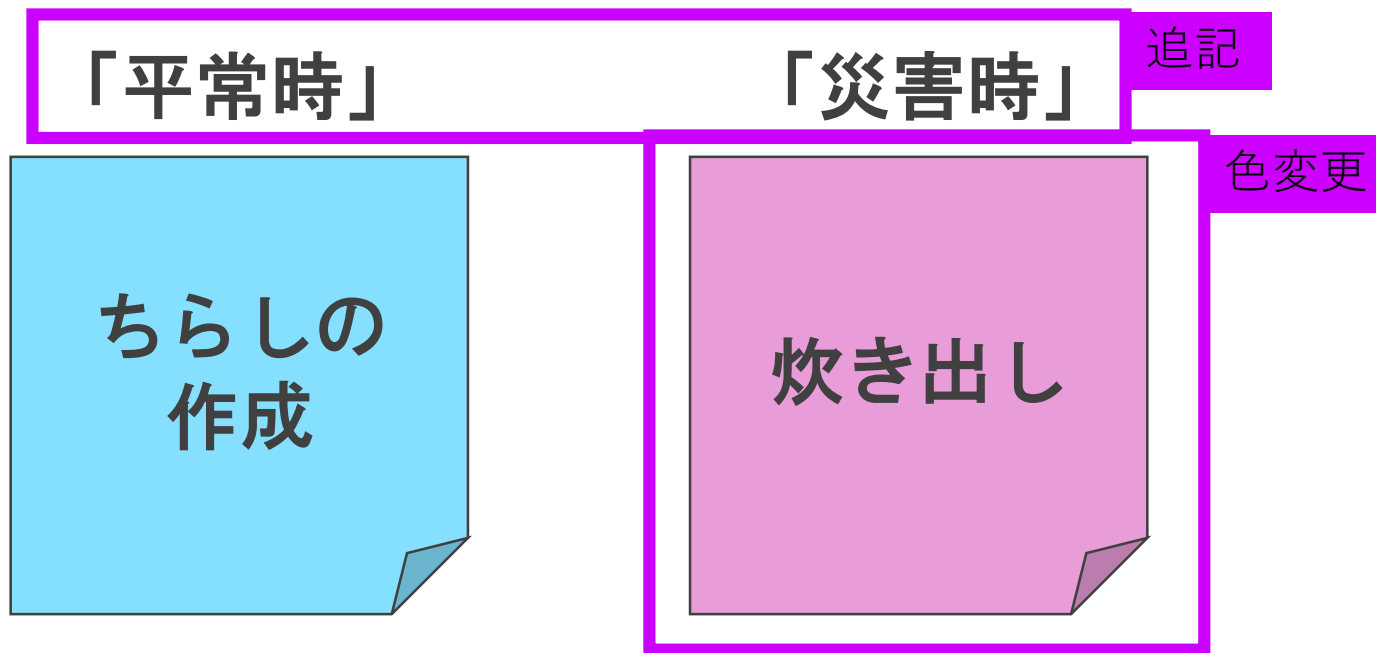
料理が得意
な人



仲間を増やす

【個人検討】 <3分>

- 黄色の付せん紙に書き出した地域の人が、「平常時」「災害時」にどんな防災の取組みができるか考え、青色（平常時）と赤色（災害時）の付せん紙に書き出してみましょう





仲間を増やす

追加

【グループ内検討準備】 <1分>

- 模造紙に、マジックで「地域にいる人」「平常時」「災害時」と下の例のように書きます

模造紙(横)記入例

地域にいる人	平常時	災害時



仲間を増やす

【グループ内検討】 <10分>

1. グループ内の1人が、黄色の付せん紙に書き出した「地域にいる人」を読み上げ模造紙に貼ります
2. 続いて、「地域にいる人」が活動できる防災に関する取組み(青色と赤色の付せん紙)を読み上げ、平常時と災害時にわけて貼ります。
3. 他の人は、同じ内容の付せん紙があったら近くに貼ります
4. 貼り終わったら、次の人の番です(1～3を繰り返す)

地域にいる人	平常時		災害時
パソコンが得意な人	ちらしの作成	▲▲▲ ▲▲	△△△ △△
料理が得意な人	炊き出し訓練	○○○ ○○	炊き出し □□□ □□
●●●● ●な人			

色変更



仲間を増やす

【グループ内検討】 <5分>

- 黄色の付せん紙に書き出した「地域にいる人」が、防災の取組みに参加するためには、何をしたらよいか話し合ってみましょう

地域にいる人	平常時		災害時
パソコン が得意な 人	ちらしの 作成	▲▲▲ ▲▲	△△△ △△
料理が得 意な人	炊き出し 訓練	○○○ ○○	炊き出し □□□ □□
●●●●● ●な人			

色変更

地域の資源(人)を活かす

地域の資源(人)を活かし、平時から防災の取組みに参加してもらえるように、声をかけてみましょう

地域の資源(人)		平時	災害時
	パソコンが得意	→ チラシづくり	情報の整理
	料理が得意	→ 炊出し訓練	炊き出し
	企画が得意	→ イベント企画	レクリエーション
修正	医師	→ 応急手当のやり方	応急処置
	消防士OB	→ 救命講習	救急救命活動
	若者	→ 新しいアイディア	力仕事

自主防災組織に参加する仲間を増やす

多様な人達が一人一人**役割**を得て、**やりがい**を感じながら、**楽しみ、前向き**に取り組むことができるように心掛けましょう

広報

知ってもらう

広報紙、アンケート、
イベントでPR

場

楽しい場づくり

参加したくなる
雰囲気づくり

女性

女性は不可欠

女性にしかできない
ことがある

次世代

育てる・巻き込む

継続的な活動を意識

【事例】自主防災組織に参加する仲間を増やす

スライド追加

■地域にいる専門人材を活用した人材の育成

くごうだい
(公郷台自治会自主防災組織:神奈川県 横須賀市)

- 町内に潜在する災害対応専門人材や、災害時に協力してもらえる事業者を、同自主防災組織の「防災人材バンク」に登録してもらい、平常時はアドバイザー役として、災害発生時は戦力として協力体制を構築した
- 登録者には、消防職員や看護師・介護士、工務店、水道工事店がいることから地域住民に安心を提供している



参考:消防庁「自主防災組織の手引」

【事例】自主防災組織に参加する仲間を増やす

スライド追加

■子どもも楽しめる訓練で高まる地域の防災意識

いしがみ
(石神自主防災会:埼玉県 新座市)

- 石神小学校体育館を利用した「お泊り訓練」を実施
- お泊り訓練の内容については、誰でも参加しやすいソフトな訓練項目、楽しいゲームや子供との災害料理を作る等。
PTA、親父の会も参加
- スタンプラリー・町会炊き出し
班と子ども達の共同炊事・
簡易ランタンや新聞紙
スリッパの作成・段ボール
ブロック設置などを行った



参考:消防庁「自主防災組織の手引」
写真出典:新座市ホームページより

3. 仲間を増やす - まとめ -

- 女性をはじめ、地域に暮らす多様な人達を巻き込み、活動に参画する仲間を増やしましょう

4. 地域を取り巻く団体等 との連携

地域の様々な人や団体との連携・協力

地域には多様な人や団体があるので、まずは連携できる人や団体と協力しながら、自主防災活動を進めましょう



本スライドは、他の団体等との連携・協力の一例をイメージして作成しています。研修を行う地域の状況に応じて修正のうえご利用下さい。

【事例】自主防災組織と他団体との連携（平時からの協力）

■ 自主防災組織と小学校の連携

うさ
(宇佐町自主防災連絡協議会等：高知県)

- 小学校と連携し、学校行事の防災キャンプで、避難訓練を実施
- 子育て世代が参加
- PTA役員も参加

参考：高知県「自主防災活動事例集」



■ 自主防災組織、消防団、地元企業と共同で防災訓練

やなぎしま
(柳島自主防災会：静岡県 富士市)

- 消防団・地元企業と協同で防災訓練を実施
- 地元の信用金庫の非常発電を災害時に活用する訓練等を実施

参考：消防庁「自主防災組織の手引き」



【事例】自主防災組織と他団体との連携（災害時の協力）

■災害時相互協力協定の効果

（^{ふくずみ}福住町町内会：宮城県 仙台市）

- 他県の町内会や民間会社と、「協力協定」を締結
- 内容はたった1項目「災害が起きたらできるだけ支援・協力を行う」
- 東日本大震災の4日後には
協定先から食べ物が届けられた。



参考：消防庁「東日本大震災時における自主防災組織の活動事例集」

■災害時の協力

（^{かくだ}角田市^{えだの}枝野地区防災組織：宮城県 角田市）

- 消防団・交通安全協会の方に、夜間の防犯パトロールと、避難所の当直をしてもらった
- 民間企業から暖房、燃料、機材の提供を受けた

参考：消防庁「東日本大震災時における宮城県内自主防災組織の活動事例集」

4. 地域を取り巻く団体等との連携 - まとめ -

- 様々な団体等と連携・協力しましょう

まとめ

- 自主防災組織は、主に共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います
- 地域の防災リーダーは、災害時に先頭に立って防災活動を行うために、災害時だけではなく、平常時からリーダーシップを発揮して活動しましょう
- 女性をはじめ、地域に暮らす多様な人達を巻き込み、活動に参画する仲間を増やしましょう
- 様々な団体等と連携・協力しましょう

【本教材について】

- テーマ： 1. 防災リーダーの役割/住民(構成員)の自助意識を高めるには
- 単元名： 3 自助の重要性と災害への備え
- 所要時間： 60分程度
- 準備：
 1. 研修会場にインターネット環境を準備して下さい。(映像を使用するため、スピーカー等を準備して下さい。)
 2. ワークショップ用の資料(「わが家の備蓄チェックシート」と記入用のボールペン1本を参加者に配布して下さい。 追記
 3. 適宜、スライドの追加や変更をすることができます。参加者の特性(自主防災組織等の会長が多いか、在職期間が長いかなど)に応じて、内容のカスタマイズを検討することで、より良い研修効果が期待できます。
 4. 実際に研修を行う前に、何人かのグループを作り、練習し合う場を設けることもよい研修とするうえで効果的です 追記

自主防災組織等のリーダー育成研修

防災リーダーの役割/住民
(構成員)の自助意識を高めるには

自助の重要性と
災害への備え

学習目標と内容

●学習目標

各家庭での安全対策と災害への事前の備えは、地域の自助意識を向上させるために必要であり、防災リーダーはこれらを実施するとともに、地域に伝えることの重要性を理解する

<目次>

- わが家の安全対策 P. 4～23
- 事前の備え P.24～34
- 住民の防災意識の向上 P.35～40

1. わが家の安全対策

大規模災害が発生すると・・・

災害から「いのちを守る」ためには、様々な視点から「災害に備える」ことが重要



大規模な災害



いのちの
危険に
見舞われる

ライフライン
が被害を受
け、当面の間
使えない

必要なものが
入手しづらい



災害への備えが重要

災害に備えるための視点

①事前に身の安全を守り、危険を回避する

住宅の耐震化

ブロック塀の耐震化、生垣助成

室内の転倒・落下・移動防止措置

浸水対策

地域特性(危険)把握

「私の避難行動マップ」の作成

想像力・判断力・行動力の向上

②被害を最小限に留める

防火対策・初期消火

応急手当

救出・救助

③生き延びる

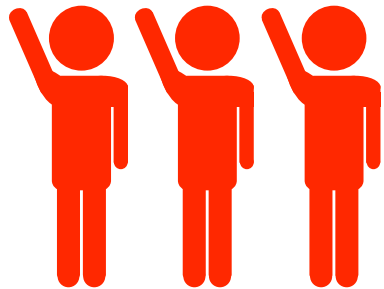
情報収集手段、家族の安否確認方法

非常持出品、備蓄品の整備

地域全体が災害に備えられるように

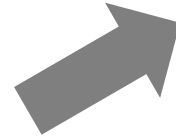
地域の防災リーダーが、災害への備えの必要性を理解・実践し、地域の人達に伝えていきましょう

地域の防災リーダー
(自主防災組織)



理解・実践

伝達

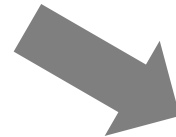


地域住民

理解・実践



理解・実践



理解・実践

地震に対する
わが家の安全対策には
どんなものがあるでしょうか？

＜地震時の室内＞
**地震の揺れで室内が
どのような状態になるのか、
映像で確認してみましょう。**

＜地震時の室内＞

総務省消防庁 防災学習DVD

『ふせごう-家具等の転落防止対策-』

06:25～07:50の映像（1分25秒） 短縮

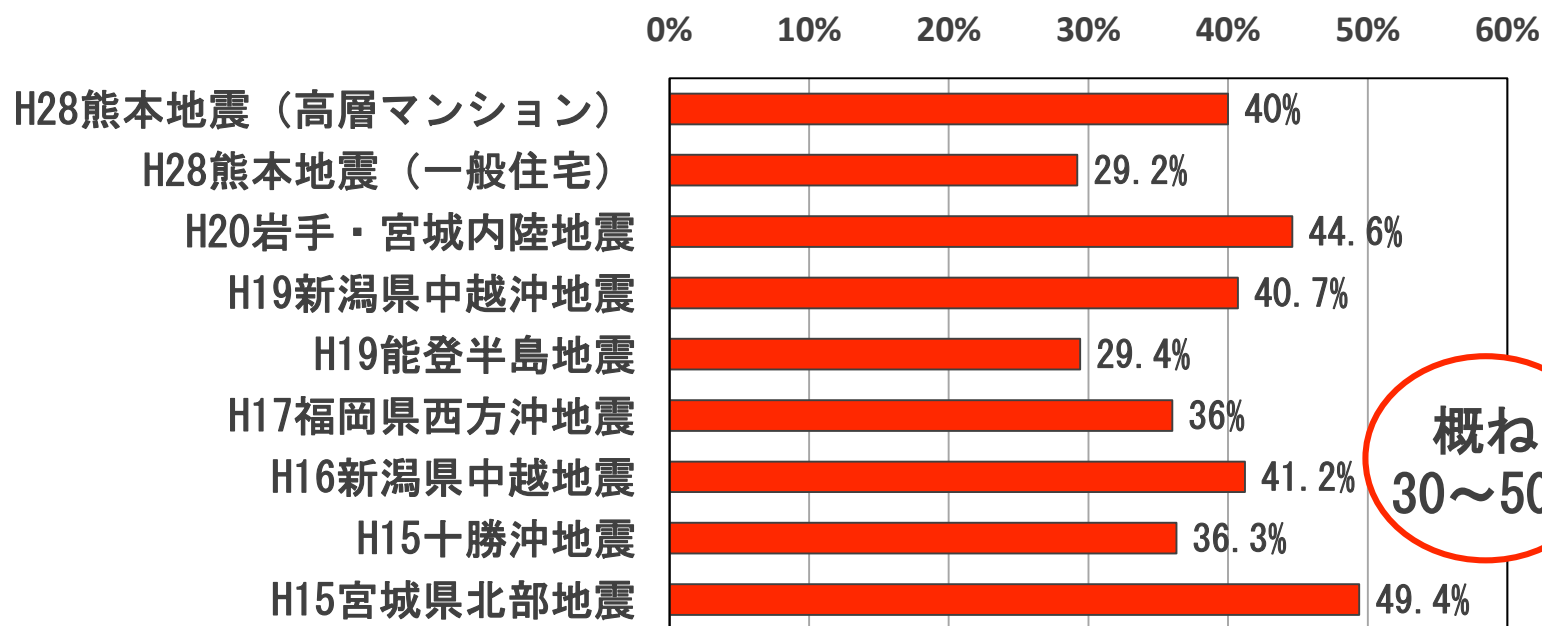
<https://www.fdma.go.jp/publication/database/database004.html>

（総務省消防庁 データベース「地震などの災害に備えて」 震災対策DVDビデオシリーズ）

家具類の転倒・落下・移動による被害

地震でけがをした人のうち、約30～50%が、家具等の転倒・落下・移動を原因としている。

近年発生した地震においてけがをした人のうち、
家具類の転倒・落下・移動を原因とするけが人の割合



地震に対するわが家の安全対策

①集中収納

居間等に家具類を置かない

②レイアウトの工夫

けがを防ぎ、避難の邪魔にならないようにするためのレイアウトの工夫

③家具類の転倒・落下・移動防止対策

家具類が揺れに対して転倒・落下しない、移動しないための備え

④防火対策・消火対策

火災を防ぎ、火災が発生したらすぐに消火するための対策

わが家の安全対策を学び、地域に伝えましょう！

地震に対するわが家の安全対策

①集中収納の方法

集中的に収納することで、居住スペースの安全を確保しましょう

納戸に集中



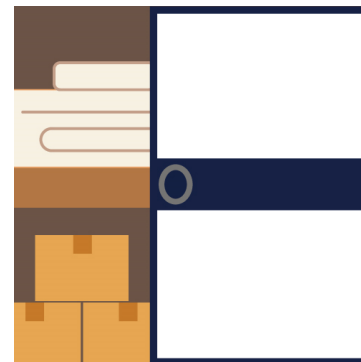
タンス部屋に集中



クローゼットに集中



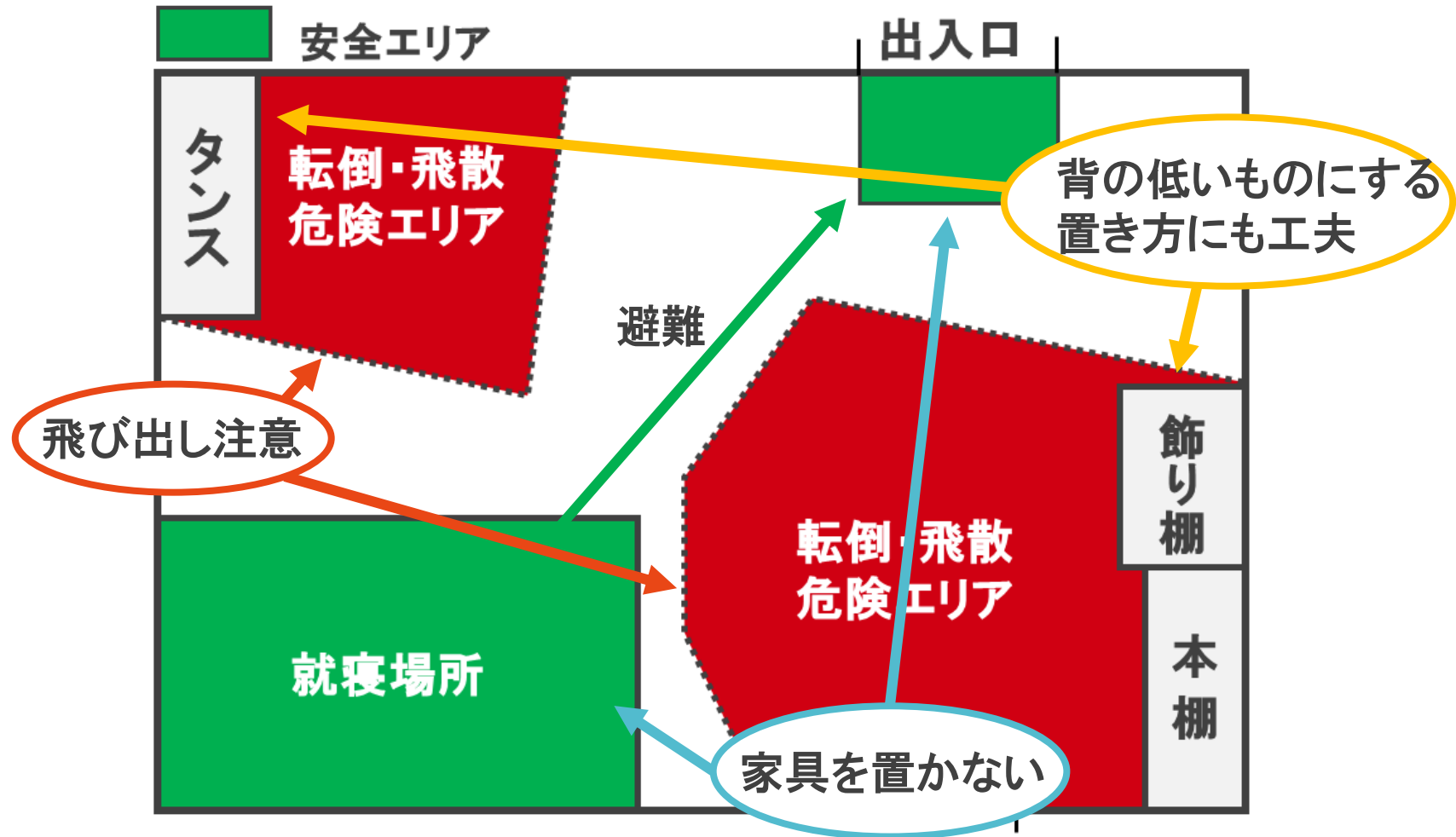
据え付け収納に集中



地震に対するわが家の安全対策

②家具類のレイアウトの工夫（安全エリアの設定）

就寝場所や出入口の付近には「安全エリア」を確保しましょう



＜家具の転倒防止＞

実際にどのようにやるのか、
必要なものはなにか、
映像で確認してみたいしょう。

＜家具の転倒防止＞

総務省消防庁 防災学習DVD

『ふせごう-家具等の転落防止対策-』

12:42～16:07の映像 (3分25秒) 短縮

<https://www.fdma.go.jp/publication/database/database004.html>

(総務省消防庁 データベース「地震などの災害に備えて」 震災対策DVDビデオシリーズ)

地震に対するわが家の安全対策

③家具類の転倒・落下・移動防止対策のポイント

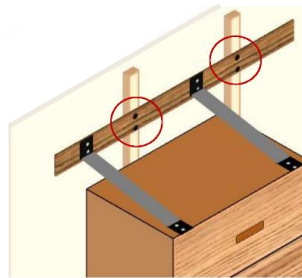
家具等転倒防止用器具

自宅や家具等にあった器具や金具を選ぶ



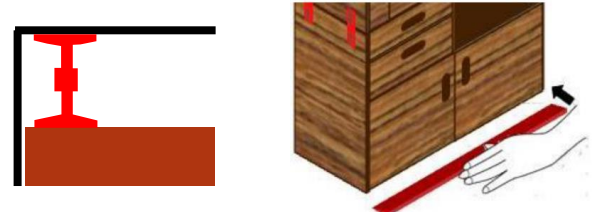
壁に固定する場合

間柱や付け鴨居など、強度がある部材に固定



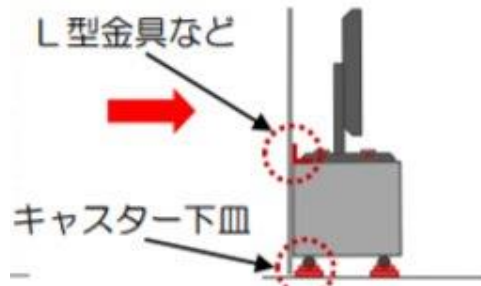
ポール式/ストッパー式器具

組み合わせて取り付けると強度がアップ、賃貸住宅にもお勧め



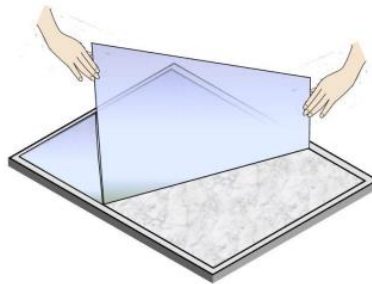
家電等の落下/移動防止

家電等は机や台と固定し、さらに机や台を壁に固定する



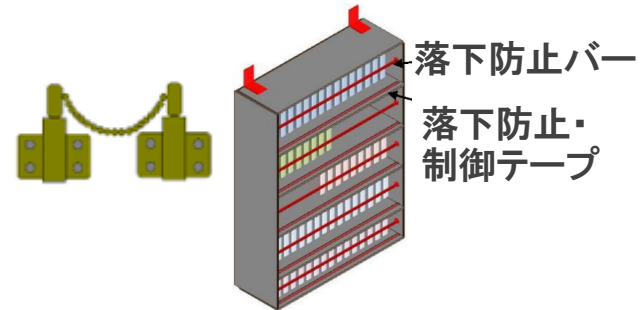
食器棚ガラスの飛散防止

ガラス飛散防止フィルムを貼る(部屋のガラスにも)



扉開放防止、収容物の工夫

収納物の飛散を防ぎ、避難ルート、空間を確保する



【事例】地域ぐるみでの取組み

■家具転倒防止事業

(^{えな}恵那市まちづくり市民協会防災研究チームなど：岐阜県 恵那市)

- 社会福祉協議会、消防団など多くの団体と、災害時要援護者宅で、家具転倒防止器具や火災警報器を取り付け
- 延べ4000名が参加し、家具転倒防止471件、火災警報器763件



参考：消防防災博物館「恵那市家具転倒防止ボランティア作戦「みんなで助け合おう減災たいさく」

地震に対するわが家の安全対策

④防火対策・消火対策

地震の揺れへの対策とあわせて、防火対策も行う

ストーブの周りに
物を置かない



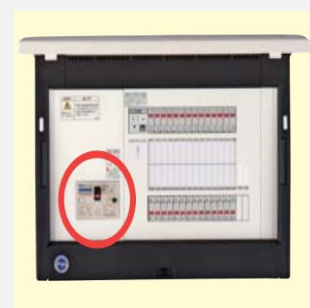
掃除や整理整頓
(コンセントなど)



家具やカーテンなど
を防災品にする



感震ブレーカーの
設置



住宅用火災警報器の設置と
定期的な点検



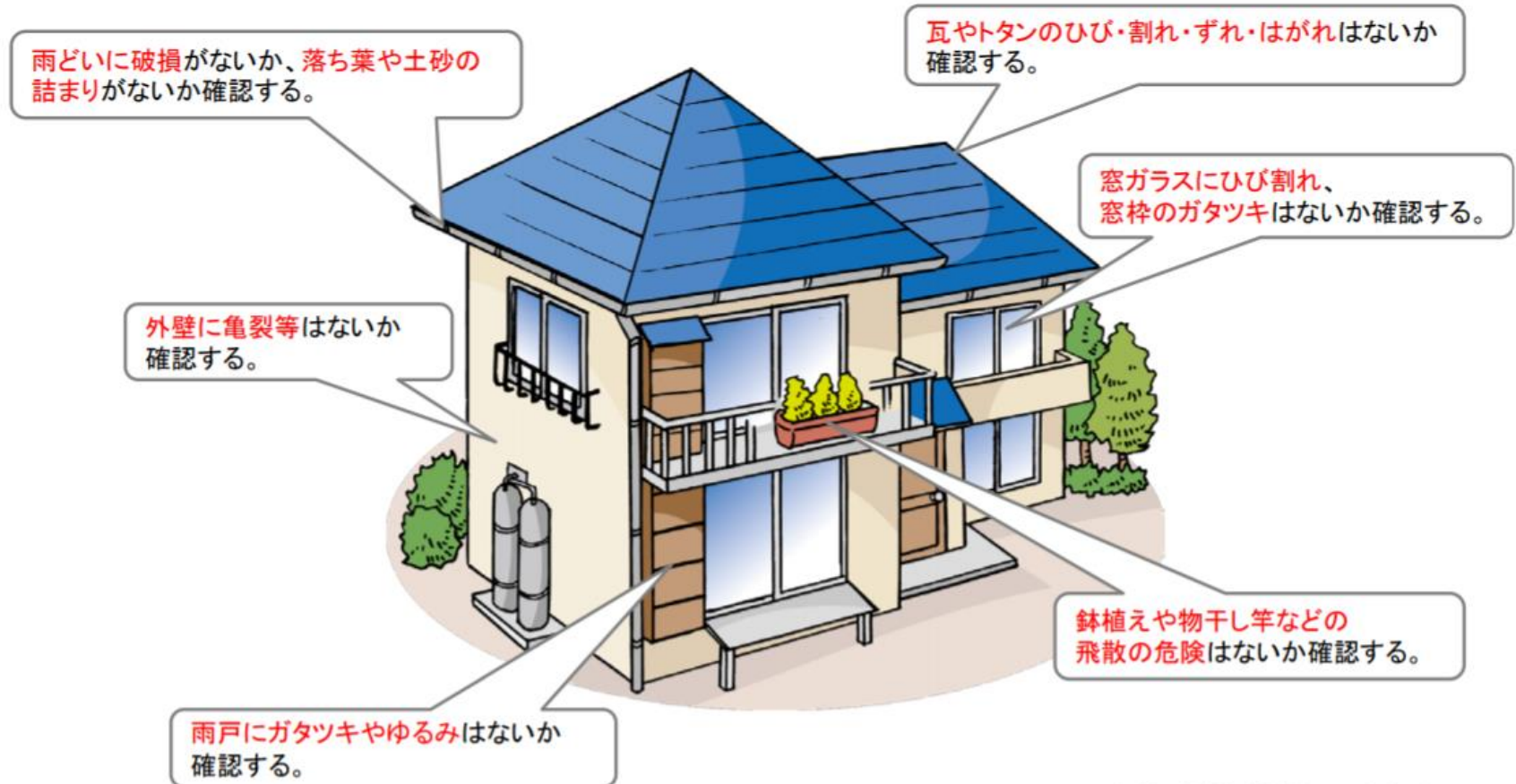
消火器の設置と
使い方を覚える



風水害に対する
わが家の安全対策には
どんなものがあるでしょうか？

風水害に対する安全対策①

家の周囲に不良個所がないか、強風により飛散する危険があるものがないかなどを確認する。



国土交通省「家庭で役立つ防災」

風水害に対する安全対策②

浸水や雨漏りなどの被害を軽減するための備え



写真: 江戸川区ホームページ



写真: 千葉市ホームページ



写真: 防衛省自衛隊ホームページ

1. わが家の安全対策

- まとめ -

- 災害からいのちを守るためには、さまざまな視点から災害に備えることが重要です
- 家具等の転倒防止などを自ら実施し、地域に伝えましょう

2.事前の備え

大規模災害が発生すると・・・

災害の直後を生き延びても・・・

ライフラインの途絶

電気・ガス・水道

避難生活が続く

生活必需品が不足

異なる個々人の事情

年齢、性別、持病など



うまく生き延びていくための「備え」が必要

備えておく物

①非常持出品

避難するときにまず**持ち出す**べきもの。

被災した最初の1日間をしのぐために、必要最低限を備える。

例えば

現金、スマートフォン、食料・飲料水、救急用品、カップ、懐中電灯、ラジオなど

②備蓄（非常備蓄品）

発災後の**避難生活（3日程度）に必要**なもの。

救援物資の到着までに最低限必要なモノを準備しておく。

例えば

食料・飲料水・簡易トイレ・生活用品など



- ・ 家族構成や一人一人の特性に合わせて準備
- ・ リーダーとして地域に伝えましょう

非常持出品のポイント

非常用持出袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所に。
「非常用持出品チェックシート」を地域の各家庭に配布し、準備を進めるよう伝えましょう。

- ①各家庭において必要なものを
- ②両手が空くよう、リュック等に
- ③歩ける重さに
- ④すぐ持っていける場所に

非常用持出品チェックシート

※避難するときにまず持ち出すべきものです。非常用持出袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう

貴重品類		
10円玉は公衆電話用に。通帳、カード、健康保険証、運転免許証などは番号を控えたメモかコピーを用意しておくといでしょう	現金 10円玉	
	預金通帳	
	印鑑	
	保険証	
	免許証	
避難用具		
懐中電灯はできれば一人に一つ用意したいもの。	懐中電灯	
	携帯ラジオ	
	予備の乾電池	
	ヘルメット・防災ずきん	
生活用品		
避難所生活に最低限必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障害者がいる場合など考慮して揃えましょう。	厚手の手袋	
	毛布	
	缶切り	
	ライター・マッチ	
	ナイフ	
	携帯用トイレ	
救急用具		
救急箱には絆創膏・消毒液など。その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるといでしょう	救急箱	
	処方箋の控え	
	胃腸薬・便秘薬・持病の薬	
	生理用品	
非常食品		
最低3日分は用意しましょう。そのままで食べられるものが便利です	乾パン	
	缶詰	
	栄養補助食品	
	アメ・チョコレート	
	飲料水	
衣料品		
衣類は動きやすいものを選びましょう。セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます	下着・靴下	
	長袖・長ズボン	
	防寒用ジャケット・雨具	
その他		
携帯用カイロ		

食べ物と飲料水

- 最低3日、可能であれば1週間分
- 飲料水は1人1日3リットル

その他

- 簡易トイレ、生活用水（浴槽にためておく等）、常用している薬、ミルク、おむつなど各家庭において特に必要なもの

**皆さんの自宅には
どれくらいの備蓄がありますか？**

**チェックシートを使って
確認してみましょう！**



備蓄状況を確認しましょう

【作業①】 <10分>

3日間生活するのに必要な備蓄量を確認し、皆さんの自宅にある備蓄が必要数に足りているか、「わが家の備蓄チェックシート」を使って確認しましょう。

掛け算で必要な数・量を算出

あてはまるものに○

家族の人数を書きます

人分

わが家の備蓄チェックシート

災害発生直後は、水道・ガス・電気が使えないことを考慮して食べものが足りるか考えてみましょう。

ステップ①

3日間生活するのに必要な備蓄量を確認しましょう。

(1) 食べ物の数

3食 × 3日分 ×

人分 =

食必要



① 足りる

② 足りない

③ 分からない

(2) 飲料水の量

3L
(リットル) × 3日分 ×

人分 =

リットル
必要



① 足りる

② 足りない

③ 分からない

(3) 簡易トイレの数

5回
(目安) × 3日分 ×

人分 =

回分



① 足りる

② 足りない

③ 分からない

ステップ③

食べ物、飲料水、簡易トイレ以外に、自分や家族に必要なものは何があるか、考えてみましょう！

(赤ちゃんがいる、自分や家族に持病がある、アレルギーがある家族がいる、電動式の医療器具を使っている人など、それぞれのご家庭の状況で必要なものは異なります。)

赤ちゃんがいるご家庭なら「おむつ・ミルク・哺乳瓶」など、ご家庭で特に必要なもの(ないと困るもの)を書き出しましょう。

地域全体で家庭の備蓄を進めましょう

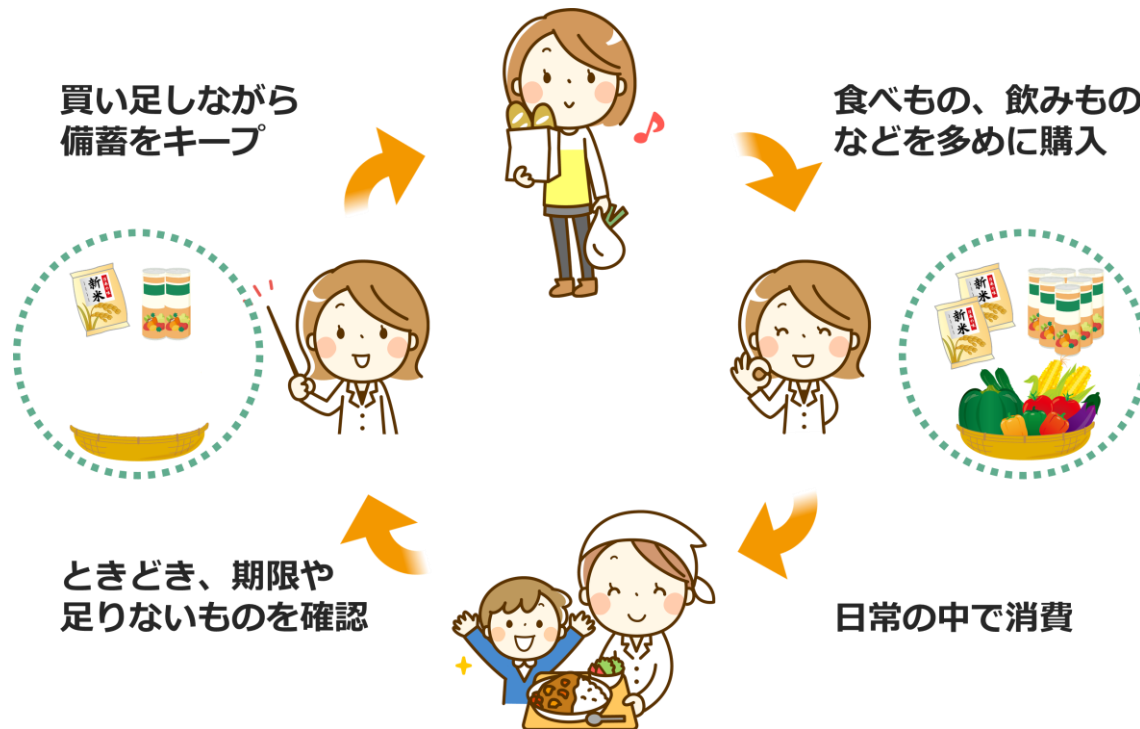
「①足りる」場合	<u>1週間を生きのびる</u> ために、さらに必要なものを必要数量購入する
「②足りない」場合	<u>3日間を生きのびる</u> ために、足りないものを購入する
「③分からない」場合	<u>まずは確認！</u> 「足りない」場合のことを考えましょう

備蓄品の例

分類	内 容
食料品	※すぐに食べられる物・簡単に調理して食べられる物 □主食（レトルトなど） □栄養補助食品 □野菜ジュース □主菜（缶詰・レトルトなど） □調味料 □菓子類 など
飲料水	□1人1日3リットル×3日分
生活用品	※生活に合わせて必要な物 □毛布 □カセットコンロ □カセットボンベ □ろうそく □ライター □ランタン □トイレットペーパー □ゴミ袋 □割り箸 □簡易トイレ □生理用品 □薬 □おむつ（赤ちゃん用） □おむつ（高齢者用） □工具セット □ガムテープ □ほうき・ちりとり □ロープ □ガムテープ □充電式ラジオ □懐中電灯 □乾電池 □予備バッテリー など
救助用具	□スコップ □バール □ノコギリ など

ローリングストック(循環備蓄)の勧め

普段から少し多めに購入しておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで常に一定量を家に備蓄しておく方法です



地域の皆さんにも勧めましょう！

【事例】災害への備え

■地域住民への啓発活動

(中央ゆめづくり協議会 防災防犯部会:三重県 ^{なばり}名張市)

- 協議会の地域は新しい住宅が多く、在宅避難が多いことが想定されるため、ローリングストック法の推奨をしている。
- 自宅の備蓄品だけで何食分の料理ができるか、何日過ごせるかを考えるゲームを考案し、備蓄に取り組んでいる。

参考:消防庁「防災まちづくり大賞第21回受賞事例集」



■計画的な備蓄対策

(^{みなみまちだ}南町田自主防災組織:東京都 ^{まちだ}町田市)

- 行政の備蓄状況などを調査し、避難所の食糧備蓄は1日分しかないことを認識し、自助・共助の役割が大きいことを痛感。
- 自主防災組織を発足し、徴収した年会費から3か年計画で備蓄品を揃え、維持管理もきめ細かく行っている。

参考:東京都総務局「地域防災活動活性化サポートガイド」

2. 事前の備え

- まとめ -

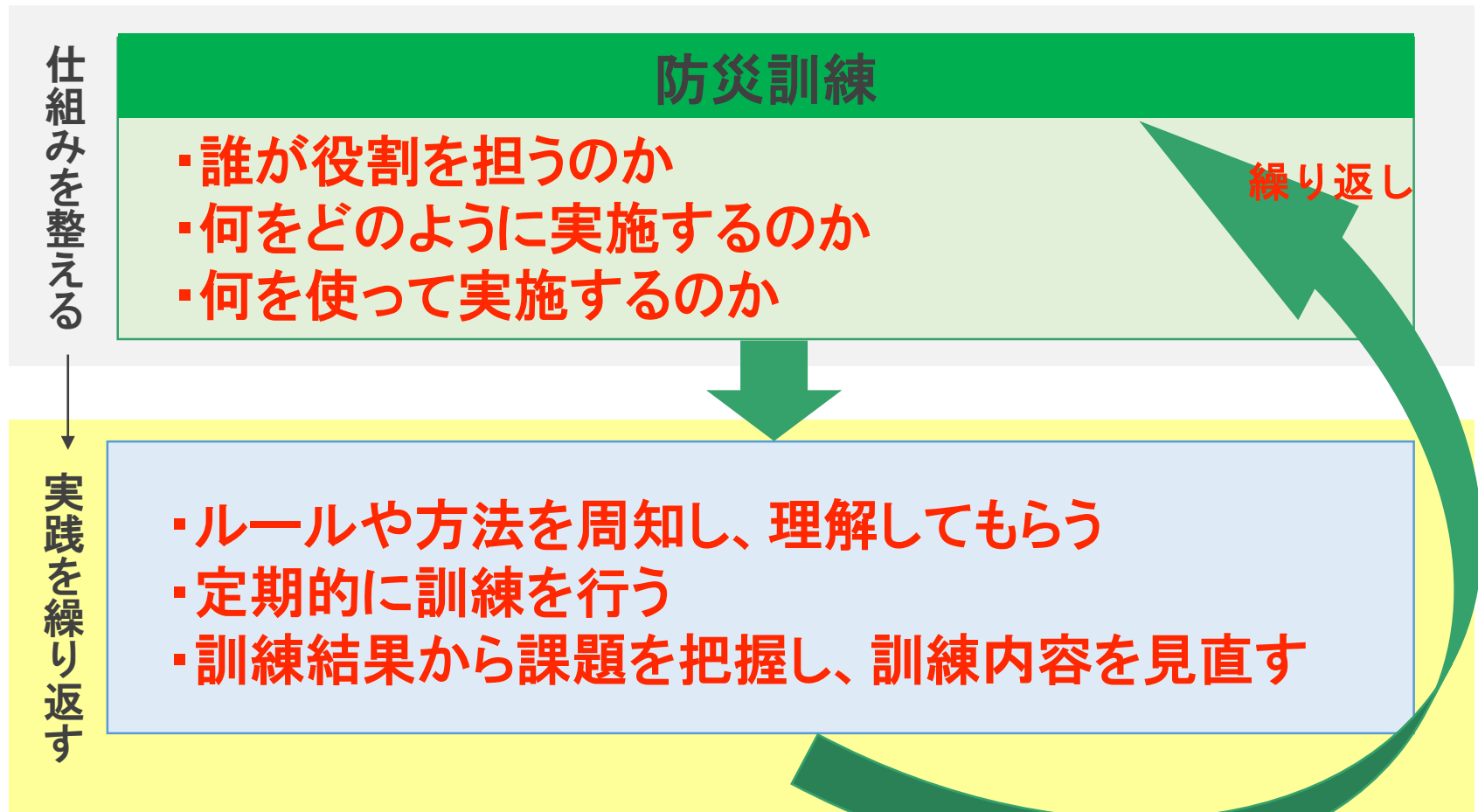
- 「非常持出品」や「備蓄」を自ら整え、地域に伝えましょう

10分

テーマ2から
移動

3. 住民の防災意識の向上

継続的な防災訓練により、内容を改善していきましょう



平時から教育・訓練を通して顔の見える関係を築いておきましょう

○訓練の実施

次のような訓練を、継続的に計画的に実施する

- ・ 情報収集・伝達、消火、救出・救護、避難、避難所運営などの災害対応(活動)に必要な知識・技術の習得のための「個別訓練」
- ・ 組織の各班が相互に連携し有機的な防災活動ができるようにするための「総合訓練」
- ・ 災害時に役立つ基礎知識の普及や災害疑似体験といったプログラムを取り入れる「体験イベント型訓練」
- ・ 災害や対応の状況をイメージするための「イメージトレーニング」
- ・ 消防団、災害ボランティア、事業所等の「他団体と連携した訓練」



○普及・啓発(教育機会の確保)

地域住民が防災に関する知識を習得できる機会をつくる

■子どもも楽しめる訓練で高まる地域の防災意識

いしがみ
(石神自主防災会:埼玉県 新座市)

- 石神小学校体育館を利用した「お泊り訓練」を実施
- お泊り訓練の内容については、誰でも参加しやすいソフトな訓練項目、楽しいゲームや子供との災害料理を作る等。PTA、親父の会も参加
- スタンプラリー・町会炊き出し
班と子ども達の共同炊事・
簡易ランタンや新聞紙
スリッパの作成・段ボール
ブロック設置などを行った



参考: 消防庁「自主防災組織の手引」
写真出典: 新座市ホームページより

【事例】訓練を通じた住民の防災意識の向上

スライド追加

■避難行動要支援者も含めた実践的な避難訓練

にしやま
(西山町会防災会:千葉県 柏市)

- 避難行動要支援者対策のための訓練において、ダミー人形を実際の人に見立てたり、具体的な被害状況(火災発生・家屋損壊など)を仮定し、参加者に被害状況を本部に報告させたりするなど、限りなく被災時に近い訓練を重ねている



参考:消防庁「自主防災組織の手引」

3. 住民の防災意識の向上 - まとめ -

- 平時から継続的に防災訓練等を通じて、地域の住民と顔の見える関係を作り、地域の防災意識の向上に努めましょう

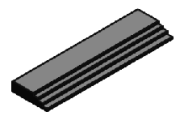
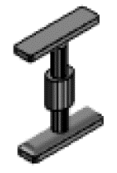
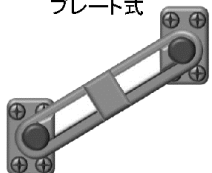
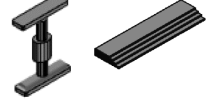
まとめ

- 災害からいのちを守るためには、さまざまな視点から災害に備えることが重要です
- 家具等の転倒防止などを自ら実施し、地域に伝えましょう
- 「非常持出品」や「備蓄」を自ら整え、地域に伝えましょう
- 平時から継続的に防災訓練等を通じて、地域の住民と顔の見える関係を作り、地域の防災意識の向上に努めましょう

(参考)家具等の転倒防止の器具の種類

自宅や家具等に合った器具や金具を選ぶ

各地域の状況に応じて、P17の後に参考資料として本スライドを活用して下さい。

件					
単独	ストッパー式  マット式 	ポール式 	L字金具 (スライド式)  ベルト式  チェーン式 	L字金具 (上向き取付)  プレート式 	L字金具 (下向き取付) 
家具・壁面や器具に十分な強度が必要					
組み合わせ	家具と天井に十分な強度が必要  大きな家具には不適			ポール式 + マット式  ポール式 + ストッパー式 	

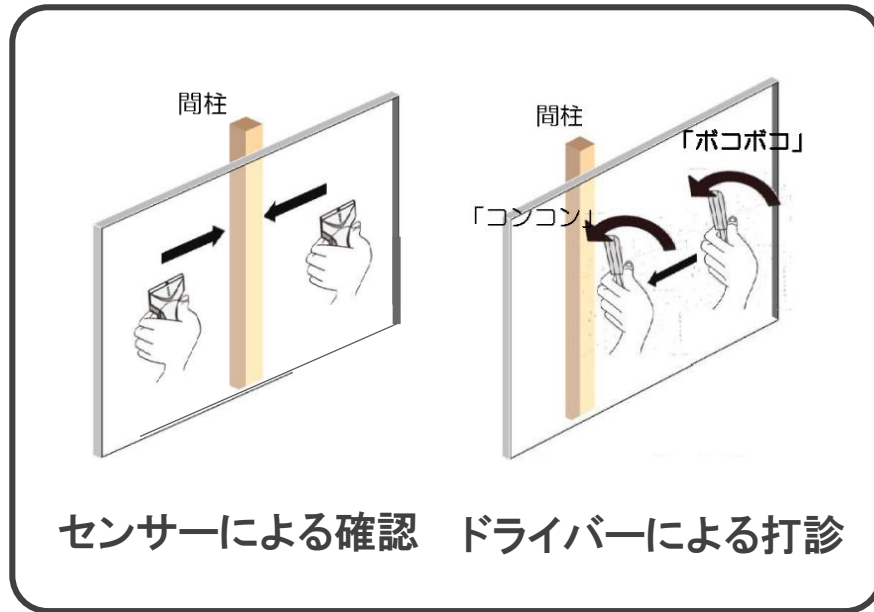
※震度6強の揺れを再現した実験で測定した効果

(参考)壁に固定する場合のポイント

間柱め付けは鴨居など、強度が不足部材に固定するケースが重なり

各地域の状況に応じて、P17の後に参考資料として本スライドを活用して下さい。

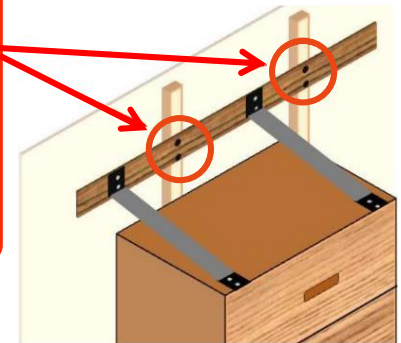
●間柱の探し方



●付け鴨居に付ける際の注意

構造部材として取り付けられている場合と、接着されている場合がある

接着されている場合は、
間柱などに木ネジで
止めた上で、対策器具
を取り付ける



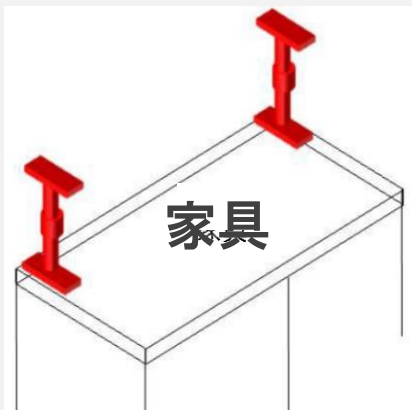
(参考)ポール式器具・ストッパー式器具の場合

組み合わせて取り付けると、壁に固定した時と同程度の効果

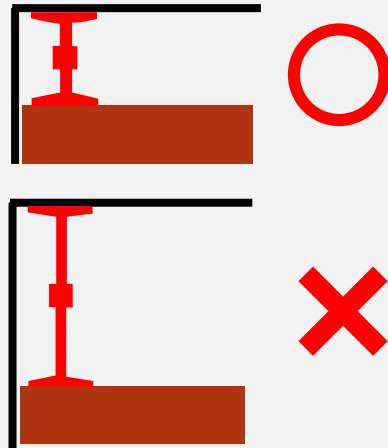
各地域の状況に応じて、P17の後に参考資料として本スライドを活用して下さい。

●ポール式器具

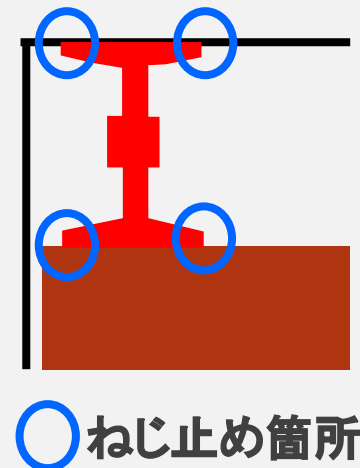
奥の両端に設置する



天井との空きは
少なく

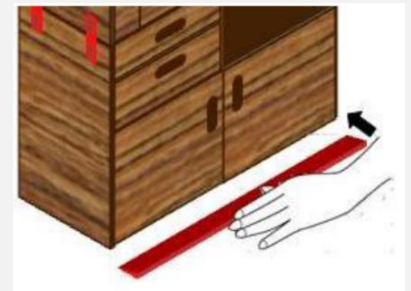


ねじ止めは効果UP



●ストッパー式器具

端から端まで敷く

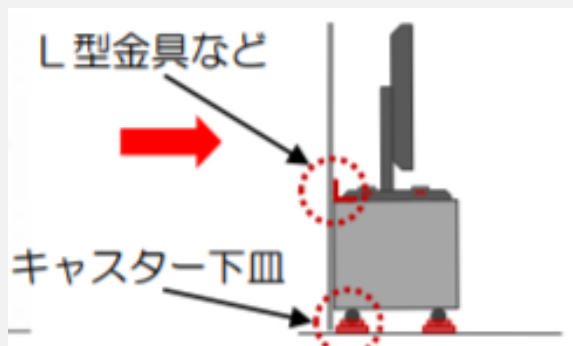


(参考)家具等の落下防止・移動防止のポイント

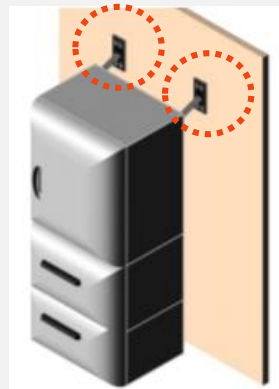
家電等は机や台を固定、さらに机や台を壁に固定する

各地域の状況に応じて、P17の後に参考資料として本スライドを活用して下さい。

テレビは台に固定、台を壁に固定

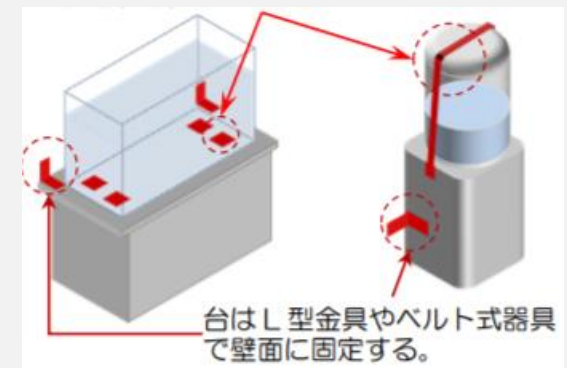


冷蔵庫は壁に固定



水槽なども固定

水槽は粘着式マットやベルトなどで台から落下しないように固定する



(参考)食器棚のガラスの飛散防止も

食器棚のガラスには、ガラス飛散防止フィルムを貼って、ガラス

各地域の状況に応じて、P17の後に参考資料として本スライドを活用して下さい。

即座のガラスに貼って、避難ルートや生活空間を確保



ガラス飛散防止フィルムの貼り付け

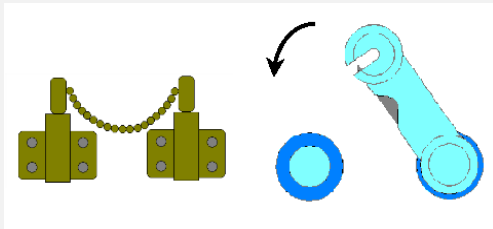
- ガラス戸の両面に貼ることにより、飛散防止効果が高くなる
- 片面に貼る場合は、外側のガラス面に貼る
- 霧吹きで、ガラスとフィルムに十分な水を吹きかけて貼り付ける(水の中に中性洗剤を1滴ほど入れるとフィルムが滑り動くようになる)

(参考)扉開放防止、収容物の落下、収容物の工夫

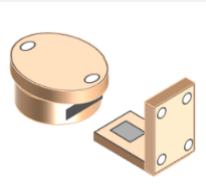
収納物の飛散を防ぎ 避難ルート 空間を確保する

各地域の状況に応じて、P17の後に参考資料として本スライドを活用して下さい。

本棚など重量の大きい収納物が入っている場合は、ネジ固定できるものを取り付ける



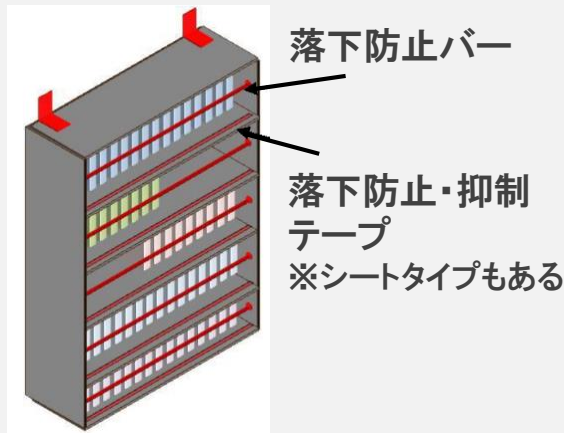
扉開放防止器具



感震ラッチ

地震を感知すると、扉にロックがかかる

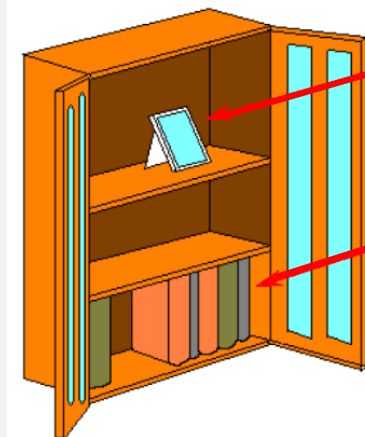
扉がない本棚なども、収納物が落下しないように落下防止バーなどを取り付ける



落下防止バー

落下防止・抑制テープ
※シートタイプもある

軽いものを上に、重いものを下に置くことで、家具の重心を下げて転倒しにくくする



軽いものを上に置く

重いものを下に置く

【本教材について】

- テーマ： 1. 防災リーダーの役割/住民(構成員)の自助意識を高めるには
- 単元名： 2 地域防災リーダーの役割
- 所要時間： 60分程度
- 準備：
 1. ワークショップ用に、各班に1枚の模造紙と付せん紙(3色)1組、参加者人数分の細マジック(黒)を準備して下さい。 追記
 2. 適宜、スライドの追加や変更をすることができます。参加者の特性(自主防災組織等の会長が多いか、在職期間が長いかなど)に応じて、内容のカスタマイズを検討することで、より良い研修効果が期待できます。
 3. 実際に研修を行う前に、何人かのグループを作り、練習し合う場を設けることもよい研修とするうえで効果的です 追記

自主防災組織等のリーダー育成研修

防災リーダーの役割/住民
(構成員)の自助意識を高めるには

地域防災リーダーの役割

学習目標と内容

●学習目標

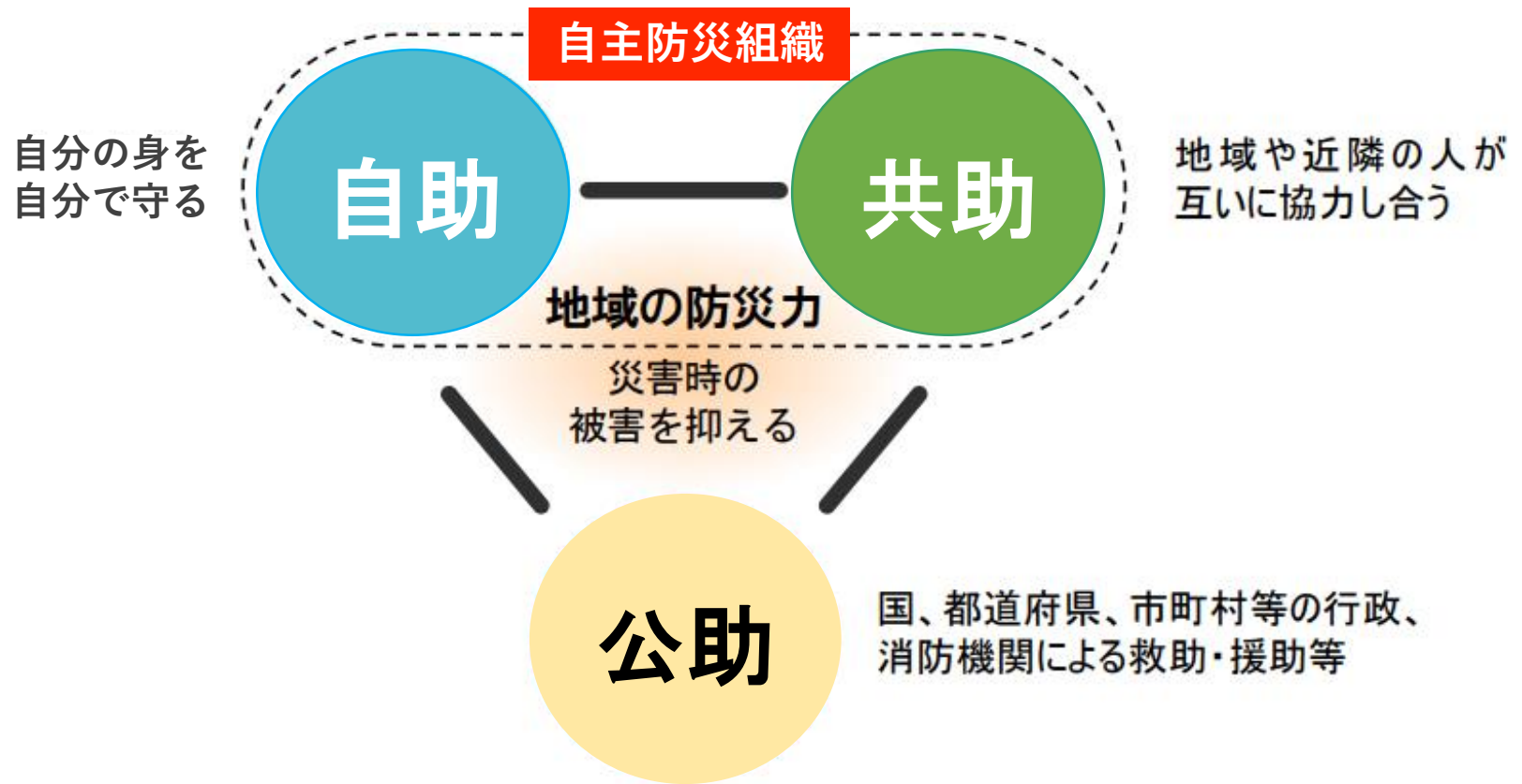
地域で自主防災活動に取り組む際に、リーダーとして最低限必要と考えられる知識を身につける

<目次>

- 自主防災組織の役割等 P. 4～10
- 地域の防災リーダーの役割 P.11～16
- 仲間を増やす P.17～31
- 地域をとりまく団体等との連携 P.32～36

1. 自主防災組織の役割等

自主防災組織の役割(自助・共助の重要性)



災害時(特に直後)は、「公助」の活動には限界がある
✓道路の寸断等で地域が孤立 ✓行政等も自身が被災

「自助」と「共助」の防災活動が重要

自主防災組織について

自主防災組織とは、自主的に結成された地域の防災活動の中核となる組織

- ・過去の災害体験や大地震発生の予想、ニュースの災害情報などをきっかけとして、防災意識が高まり、自治会等の既存の団体をベースに結成されることが多い

自覚

自分たちの地域は
自分たちで守る

目的

災害による被害を
予防し、軽減する

活動

防災教育、避難行
動要支援者対策、
避難所運営など

※地域によって様々

※自主防災組織の活動に対する補償制度

安心して自主防災組織等の活動を行う為の補償制度がある自治体もある

（例：岐阜県各務原市^{かかみがはら}「まちづくり活動補償制度」）

自主防災組織の活動の必要性

地域とのつながり・結びつきが希薄化する現在、**安心・安全な暮らしを守る地域社会づくり**には、「自助」・「共助」の力を高める自主防災組織の活動が不可欠

自主防災組織の日常における活動の目的

①

【自助力の向上】

各家庭での
防災対策の促進

②

【共助力の向上】

地域の
災害対応力の向上

平時の主な取組み

平時から、防災意識の向上、地域の災害に対する備え、自助・共助の意識の向上などに取り組む

①

地域ぐるみでの
防災意識の醸成、
教育実施

②

家庭内の
安全対策の推進

③

地域の
災害危険個所
の把握

④

防災訓練

自主防災組織の役割の例(災害時)

1つの例です。役割を決める際の参考にして下さい。



1. 自主防災組織の役割等

- まとめ -

- 自主防災組織は、主に共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います。

2.地域の防災リーダーの 役割

地域の防災リーダーとして
果たす役割は何でしょうか？

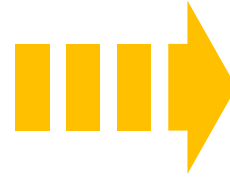
地域の防災リーダーの役割

平常時

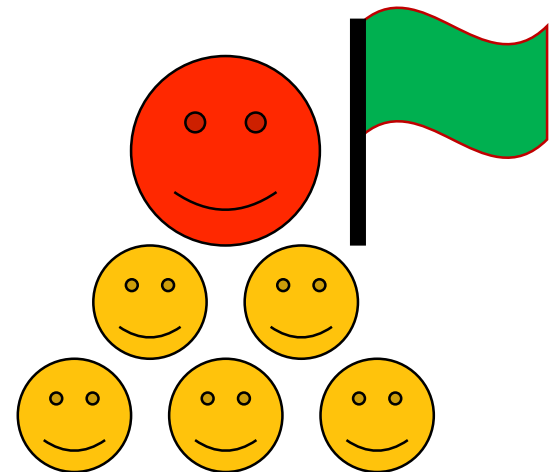
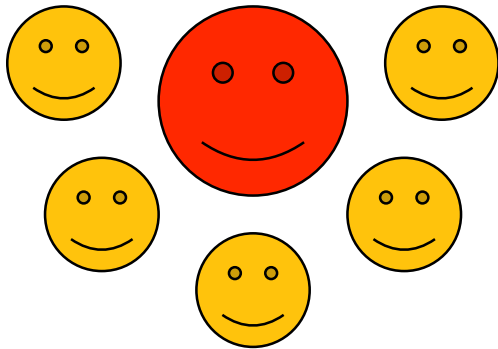
**災害
発生**

災害時

平常時から、リーダーとして地域で中心となり活動することで…



災害時、地域住民の先頭に立って、地域の防災活動を主導していくことができる



リーダーとして心掛けたいこと

① **リーダー**という立場を最大限利用しよう

② **楽しく活動**しよう

③ **仲間(3人程度の協力者)**を作ろう

「仲間に女性を入れよう」を削除

④ **役割を分担**しよう
(一人で担わない)

⑤ **地域住民とコミュニケーション**を図ろう

⑥ **地域の自助意識**を高めるよう地域の人に伝えよう

⑦ **地域の防災活動に参加する人**を育てよう

リーダーとして
心掛けたいこと

リーダーシップを発揮できる

■地域における避難の声かけ等の行動

(福岡県 ^{あさくら}朝倉市)

- 地域の役員が参加し、意見を出し合いながら地域と行政の協働で作りに上げていくワークショップ手法によりマップを作成し、地区内の各世帯に配布。
- 平成29年7月豪雨でも、班長、隣組長が避難を呼びかけ。60代の支援員が80代の方を連れて小学校に避難(その方の家は山からの土砂で押し潰された)するなど、助かった方がいる。



参考:「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する今後の取組について」(平成29年12月8日付 内閣府・消防庁通知)

2. 地域の防災リーダーの役割

- まとめ -

- 地域の防災リーダーは、災害時に先頭に立って防災活動を行うために、災害時だけではなく、平常時からリーダーシップを発揮して活動しましょう。

3. 仲間を増やす

皆さんが自主防災組織として
活動をしている中で、
悩んでいることや不安なことを
グループで話し合ってみましょう



悩みや不安を共有しましょう

【グループ検討】5分

- ・ 自主防災組織として活動する中で、悩み事や不安なことなどを、グループで話し合いましょう



**皆さんの悩みや不安は
仲間を増やすことで
解決できることが多い
のではないのでしょうか？**

皆さんの地域に
どんな人がいるか、
自主防災組織として活動
する上で仲間を増やせるか、
考えてみましょう



仲間を増やす

【個人検討】 <3分>

- 皆さんの地域にどんな人がいるか考え、黄色の付せん紙に書き出してみましょう

パソコンが
得意な人

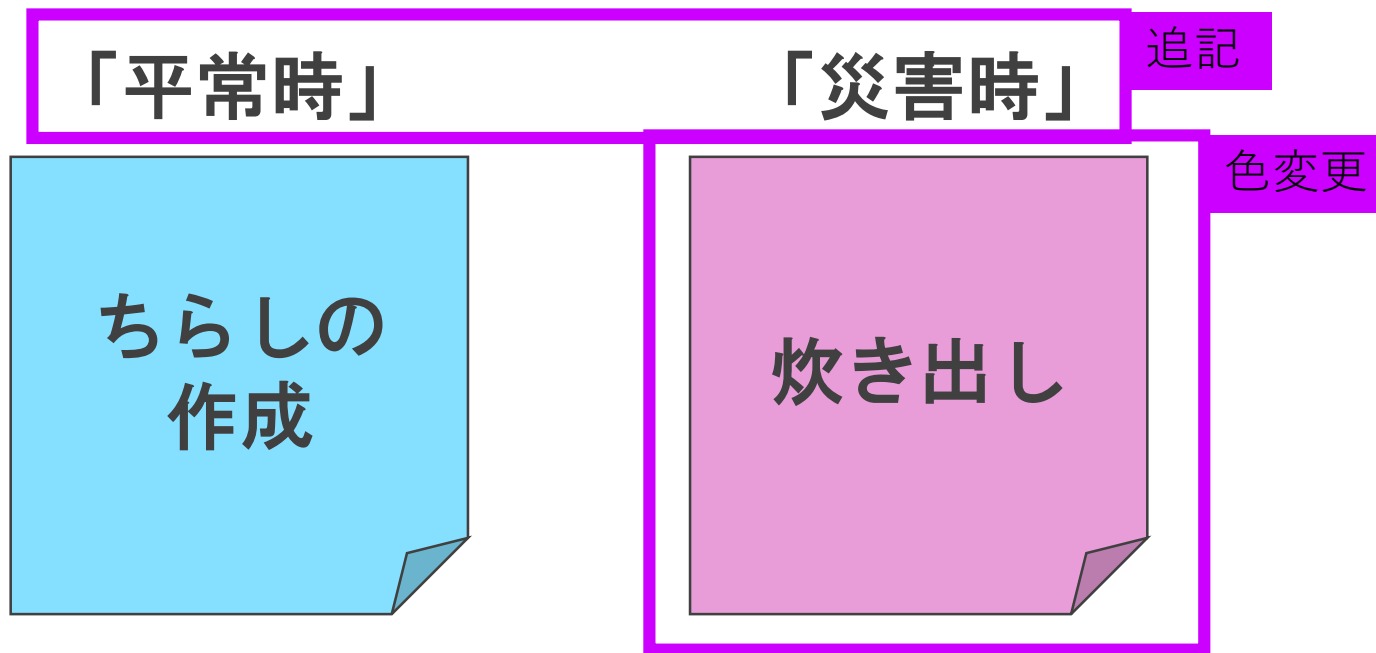
料理が得意
な人



仲間を増やす

【個人検討】 <3分>

- 黄色の付せん紙に書き出した地域の人が、「平常時」「災害時」にどんな防災の取組みができるか考え、青色（平常時）と赤色（災害時）の付せん紙に書き出してみましょう





仲間を増やす

追加

【グループ内検討準備】 <1分>

- 模造紙に、マジックで「地域にいる人」「平常時」「災害時」と下の例のように書きます

模造紙(横)記入例

地域にいる人	平常時	災害時



仲間を増やす

【グループ内検討】 <10分>

1. グループ内の1人が、黄色の付せん紙に書き出した「地域にいる人」を読み上げ模造紙に貼ります
2. 続いて、「地域にいる人」が活動できる防災に関する取組み(青色と赤色の付せん紙)を読み上げ、平常時と災害時にわけて貼ります。
3. 他の人は、同じ内容の付せん紙があったら近くに貼ります
4. 貼り終わったら、次の人の番です(1～3を繰り返す)

地域にいる人	平常時		災害時
パソコンが得意な人	ちらしの作成	▲▲▲ ▲▲	△△△ △△
料理が得意な人	炊き出し訓練	○○○ ○○	炊き出し □□□ □□
●●●● ●な人			

色変更



仲間を増やす

【グループ内検討】 <5分>

- 黄色の付せん紙に書き出した「地域にいる人」が、防災の取組みに参加するためには、何をしたらよいか話し合ってみましょう

地域にいる人	平常時		災害時
パソコンが得意な人	ちらしの作成	▲▲▲ ▲▲	△△△ △△
料理が得意な人	炊き出し訓練	○○○ ○○	炊き出し □□□ □□
●●●●● ●な人			

色変更

地域の資源(人)を活かす

地域の資源(人)を活かし、平時から防災の取組みに参加してもらえるように、声をかけてみましょう

地域の資源(人)			平時	災害時
	パソコンが得意	→	チラシづくり	情報の整理
	料理が得意	→	炊出し訓練	炊き出し
	企画が得意	→	イベント企画	レクリエーション
修正	医師	→	応急手当のやり方	応急処置
	消防士OB	→	救命講習	救急救命活動
	若者	→	新しいアイディア	力仕事

自主防災組織に参加する仲間を増やす

多様な人達が一人一人**役割**を得て、**やりがい**を感じながら、**楽しみ、前向き**に取り組むことができるように心掛けましょう

広報

知ってもらう

広報紙、アンケート、
イベントでPR

場

楽しい場づくり

参加したくなる
雰囲気づくり

女性

女性は不可欠

女性にしかできない
ことがある

次世代

育てる・巻き込む

継続的な活動を意識

【事例】自主防災組織に参加する仲間を増やす

スライド追加

■地域にいる専門人材を活用した人材の育成

くごうだい
(公郷台自治会自主防災組織:神奈川県 横須賀市)

- 町内に潜在する災害対応専門人材や、災害時に協力してもらえる事業者を、同自主防災組織の「防災人材バンク」に登録してもらい、平常時はアドバイザー役として、災害発生時は戦力として協力体制を構築した
- 登録者には、消防職員や看護師・介護士、工務店、水道工事店がいることから地域住民に安心を提供している



参考:消防庁「自主防災組織の手引」

【事例】自主防災組織に参加する仲間を増やす

スライド追加

■子どもも楽しめる訓練で高まる地域の防災意識

いしがみ
(石神自主防災会:埼玉県 新座市)

- 石神小学校体育館を利用した「お泊り訓練」を実施
- お泊り訓練の内容については、誰でも参加しやすいソフトな訓練項目、楽しいゲームや子供との災害料理を作る等。
PTA、親父の会も参加
- スタンプラリー・町会炊き出し
班と子ども達の共同炊事・
簡易ランタンや新聞紙
スリッパの作成・段ボール
ブロック設置などを行った



参考:消防庁「自主防災組織の手引」
写真出典:新座市ホームページより

3. 仲間を増やす - まとめ -

- 女性をはじめ、地域に暮らす多様な人達を巻き込み、活動に参画する仲間を増やしましょう

4. 地域を取り巻く団体等 との連携

地域の様々な人や団体との連携・協力

地域には多様な人や団体があるので、まずは連携できる人や団体と協力しながら、自主防災活動を進めましょう



本スライドは、他の団体等との連携・協力の一例をイメージして作成しています。研修を行う地域の状況に応じて修正のうえご利用下さい。

【事例】自主防災組織と他団体との連携（平時からの協力）

■自主防災組織と小学校の連携

^{うさ}
（宇佐町自主防災連絡協議会等：高知県）

- 小学校と連携し、学校行事の防災キャンプで、避難訓練を実施
- 子育て世代が参加
- PTA役員も参加

参考：高知県「自主防災活動事例集」



■自主防災組織、消防団、地元企業と共同で防災訓練

^{やなぎしま}
（柳島自主防災会：静岡県 富士市）

- 消防団・地元企業と協同で防災訓練を実施
- 地元の信用金庫の非常発電を災害時に活用する訓練等を実施

参考：消防庁「自主防災組織の手引き」



【事例】自主防災組織と他団体との連携（災害時の協力）

■災害時相互協力協定の効果

（^{ふくずみ}福住町町内会：宮城県 仙台市）

- 他県の町内会や民間会社と、「協力協定」を締結
- 内容はたった1項目「災害が起きたらできるだけ支援・協力を行う」
- 東日本大震災の4日後には
協定先から食べ物が届けられた。



参考：消防庁「東日本大震災時における自主防災組織の活動事例集」

■災害時の協力

（^{かくだ}角田市^{えだの}枝野地区防災組織：宮城県 角田市）

- 消防団・交通安全協会の方に、夜間の防犯パトロールと、避難所の当直をしてもらった
- 民間企業から暖房、燃料、機材の提供を受けた

参考：消防庁「東日本大震災時における宮城県内自主防災組織の活動事例集」

4. 地域を取り巻く団体等との連携 - まとめ -

- 様々な団体等と連携・協力しましょう

まとめ

- 自主防災組織は、主に共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います
- 地域の防災リーダーは、災害時に先頭に立って防災活動を行うために、災害時だけではなく、平常時からリーダーシップを発揮して活動しましょう
- 女性をはじめ、地域に暮らす多様な人達を巻き込み、活動に参画する仲間を増やしましょう
- 様々な団体等と連携・協力しましょう

わが家の備蓄チェックシート

災害発生直後は、水道・ガス・電気が使えないことを考慮して食べものが足りるか考えてみましょう。

ステップ①

3日間生活するのに必要な備蓄量を確認しましょう。

ステップ②

自宅の状況を思い出し、必要分足りるか考えて、当てはまるものに○をつけてください。

(1) 食べ物の数

3食 × 3日分 ×

人分 =

食必要



① 足りる

② 足りない

③ 分からない

(2) 飲料水の量

3L
(リットル) × 3日分 ×

人分 =

L(リットル)
必要



① 足りる

② 足りない

③ 分からない

(3) 簡易トイレの数

5回
(目安) × 3日分 ×

人分 =

回分



① 足りる

② 足りない

③ 分からない

ステップ③

食べ物、飲料水、簡易トイレ以外に、自分や家族に必要なものは何があるか、考えてみましょう！

(赤ちゃんがいる、自分や家族に持病がある、アレルギーがある家族がいる、電動式の医療器具を使っている人など、それぞれのご家庭の状況で必要なものは異なります。)